

基本目的Ⅱ 福祉と健康

「地域で支え合い 生涯健康で暮らせる 幸福感の高いまち」

◆05 地域福祉

施策目的 地域で支え合い、だれもが安心して暮らせるまちになる

◆06 高齢者

施策目的 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる

◆07 障がい

施策目的 障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる

◆08 社会保障

施策目的 市民が安心して生活できるような社会保障の機能が充実したまちになる

◆09 健康

施策目的 心身ともに健康で、いきいきと暮らせるまちになる

◆10 医療

施策目的 適切な医療がいつでも受けられるまちになる

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	35	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	社会福祉総務		5,966千円	1,175千円	907千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	民生関係経費として、地域福祉の中心的役割を果たす地域福祉推進協議会の開催および安定的な血液を確保・供給するために市民献血を実施する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 第四次館林市地域福祉計画の策定
 - ・地域福祉推進協議会による計画の進捗管理と計画策定
 - ・市民アンケートの実施
 - ・地域懇談会の開催（8地区）
- 市民献血の実施

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進協議会の開催 ・市民献血の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進協議会の開催 ・市民献血の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉推進協議会の開催 ・市民献血の実施
事業費		1,175	1,175	1,175
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,175	1,175	1,175

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	地域福祉推進協議会の開催回数	1	目標値	1	1	1	1	1
			実績値	5	1			
活動指標	市民献血受付者数	255	目標値	270	278	285	293	300
			実績値	334	267			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,175 千円	令和4年度決算額	907 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【地域福祉推進協議会】 令和2年度 実施回数 1回 令和3年度 実施回数 5回 令和4年度 実施回数 1回 【市民献血】 令和2年度 実施回数5回 受付者数322人 献血者数277人 令和3年度 実施回数5回 受付者数334人 献血者数295人 令和4年度 実施回数4回 受付者数267人 献血者数247人			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域福祉推進協議会による地域福祉計画の評価をホームページに掲載し、事業の見える化を進めた。また、令和4年度は、第四次地域福祉計画の初年度として、令和4年度から5年間の地域福祉に関する施策を推進することができた。 市民献血についても、協力者数は増加しており、血液の安定供給に一定の効果が得られている。					
課題	地域福祉推進協議会は、地域福祉の根幹をなす組織として、今後も継続的な開催を実施する必要がある。 また、血液事業については、高齢者人口の増加と新型コロナウイルスによる緊急事態宣言の発令による協力団体が減少している中であって、常に安定した血液の確保・供給を求められていることから、市民および職員に周知を図り継続的な実施を行う必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	地域福祉推進協議会における地域福祉計画の進捗管理を継続し、公表していく。 また、市民献血については、今後も高齢化により献血協力者数が減少していくことが予想されるため、日本赤十字社等との協力体制を継続し実施していく。					
令和6年度 事業計画	・地域福祉推進協議会の開催（年1回予定） ・市民献血の実施（年4回）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	36	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	民生委員児童委員活動推進事業			9,221千円	9,544千円	9,456千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備
施策の方向	▶3_民生委員・児童委員などとの連携

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	民生委員児童委員活動の充実を図るための事業費補助を目的とする。 ・福祉研究部会3部会への補助 ・委員活動費補助（民生委員児童委員148名・主任児童委員18名）
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○民生委員児童委員協議会事業費補助金 民生委員児童委員の資質向上のための研修等の開催にあたり、開催経費の一部を補助する。	
○民生委員児童委員活動費補助金 民生委員児童委員の活動にあたり、実費弁償費としての活動費を補助する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		・民生委員児童委員一斉改選 ・民生委員児童委員協議会事業費補助 ・民生委員児童委員活動費補助金	・民生委員児童委員協議会事業費補助 ・民生委員児童委員活動費補助金	・民生委員児童委員協議会事業費補助 ・民生委員児童委員活動費補助金
	事業費	9,544	9,320	9,320
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	9,544	9,320	9,320

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 民生委員児童委員相談支援件数	1,619	目標値	1,633	1,639	1,646	1,653	1,660
	単位：件	実績値	1,487	1,882			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	9,544 千円	令和4年度決算額	9,456 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度】 相談・支援件数 1,436件 その他活動件数 9,696件 活動日数 16,540日			
	【令和3年度】 相談・支援件数 1,487件 その他活動件数 10,488件 活動日数 17,568日			
	【令和4年度】 相談・支援件数 1,882件 その他活動件数 15,080件 活動日数 20,022日			
	委員活動費補助（市） 年間47,500円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症防止により群馬県の警戒度に合わせて活動を制限していたが、相談支援活動は訪問活動だけでなく電話などを活用し、継続して活動を実施することができた。					
課題	民生委員・児童委員の活動日数は、平均約119日であり、新型コロナウイルスの影響による活動の自粛のなかでも活動日数は前年度と比較して増加している。しかし、民生委員児童委員への行政等からの依頼事項の増加や地域のつながりの希薄化による相談・支援も多く、委員への負担が大きくなっている。今後は、民生委員児童委員の負担感を軽減し、次の担い手を確保するための環境整備を図っていく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	民生委員児童委員の活動範囲が拡大し、拘束時間や専門性が高くなっているため、民生委員児童委員の活動を支援できる環境整備を図っていく。					
令和6年度 事業計画	民生委員推薦会の開催（年2回） 全体研修会の開催（年3回） 任期別研修会の開催（3階層各1回） 福祉研究部会3部会開催					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	37	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	社会福祉諸団体活動推進事業			20,581千円	20,581千円	20,681千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	福祉関係団体（保護司会・更生保護女性会・遺族会）の活動費補助および地域福祉活動の強化充実を図るため、民間福祉の中心となる社会福祉協議会への事業運営費を補助する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○館林邑楽保護区保護司会補助金	館林邑楽保護区保護司会の活動にあたり、活動費を補助する。
○館林市更生保護女性会補助金	更生保護女性会の活動にあたり、活動費を補助する。
○館林市遺族会事業費補助金	館林市遺族会の活動にあたり、活動費を補助する。
○館林市社会福祉協議会補助金	館林市社会福祉協議会の活動にあたり、活動費を補助する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林邑楽保護区保護司会補助金 ・ 更生保護女性会補助金 ・ 市遺族会事業費補助金 ・ 社会福祉協議会運営費補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林邑楽保護区保護司会補助金 ・ 更生保護女性会補助金 ・ 市遺族会事業費補助金 ・ 社会福祉協議会運営費補助金 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館林邑楽保護区保護司会補助金 ・ 更生保護女性会補助金 ・ 市遺族会事業費補助金 ・ 社会福祉協議会運営費補助金
事業費		20,581	20,581	20,581
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	20,581	20,581	20,581

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	福祉団体構成員の人数	486	目標値	486	486	486	486	486
		単位：人	実績値	423	369			
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	20,581千円	令和4年度決算額	20,681千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度】 ・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円 【令和3年度】 ・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円 【令和4年度】 ・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円 ・社会福祉協議会福祉基金交付金（交通遺児）100,000円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	福祉関係団体（保護司会・更生保護女性会・遺族会）は、犯罪を犯した人の更生や薬物乱用の防止、戦争犠牲者に対する相談などを積極的に実施しており、補助金の有効活用が図られている。 また、社会福祉協議会においては、民間事業所の模範となる先進的な地域福祉活動事業に率先して取り組んでいく必要があるため、収益を大幅に上げることは事業内容的に厳しい状況がある。					
課題	各団体とも活動資金として、補助金以外にも会費や事業収益などの自助努力により資金を確保している。しかし、近年会員の高齢化や会員数の減少、事業収益の減額などの影響により、活動資金の確保も厳しさを増している。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	各団体とも自助努力により活動資金を確保しているが、収入源は会員からの会費等の割合が大きく、事業収益を得ることが厳しい状況であるため、今後も活動費の補助を継続していく。					
令和6年度 事業計画	・地区保護司会補助金 73,000円 ・更生保護女性会補助金 48,000円 ・市遺族会事業費補助金 460,000円 ・社会福祉協議会運営費補助金 20,000,000円					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	38	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	ふれあいのまちづくり事業			3,145千円	3,145千円	3,145千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	館林市社協「ふれあいのまちづくり事業」の総事業費×1/2を上限に補助している。 高齢者・障がい者・児童等が各地域の特性を活かした福祉サービスを自主的に推進できるよう、地域社会の連帯感を高め、活力ある地域創造を目的とする。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○ふれあいのまちづくり事業補助	<ul style="list-style-type: none"> ・心配ごと相談 毎月第2・4火曜日、第1・3日曜日実施 ・ボランティア活動基盤整備 ボランティア活動保険事業の実施 ボランティアセンターの運営 ・地域組織化事業 ・買い物支援事業
-----------------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	ふれあいのまちづくり事業補助				
	事業費	3,145	3,145	3,145	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	3,145	3,145	3,145	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	福祉ボランティア登録者数	451	目標値	486	504	521	539	556
		単位：人	実績値	242	233			
総合計画指標	福祉NPO法人数	15	目標値	15	15	15	15	15
		単位：法人	実績値	13	13			
			目標値					
			単位：					
			実績値					
			目標値					
			単位：					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	3,145千円	令和4年度決算額	3,145千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【ボランティアシステム登録者数】 令和2年度 214人(新規登録者数 1人) 令和3年度 33人(新規登録者数 19人) 令和4年度 36人(新規登録者数 3人) 【小・中学生合同ボランティアスクール】 令和2年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 令和3年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 令和4年度 開催1回 参加者17名 【地域組織化事業】 令和2年度 8支部開催 参加人数 257人 令和3年度 推進会議49回 参加人数 821人 令和4年度 推進会議56回 参加人数1,075人 【買い物支援事業】 令和2年度 開催1回 参加者14人(※買い物支援は新型コロナウイルス感染症防止のため中止) 令和3年度 移動販売車を利用した買い物支援の実施 令和4年度 移動販売車を利用した買い物支援の実施		【ボランティア養成講座】 令和2年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 令和3年度 新型コロナウイルス感染症防止のため中止 令和4年度 開催1回 参加者 29人

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和元年度より買い物支援事業が開始されたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、現在、事業を休止している。しかし、地域の課題である高齢者等の買い物について、社会福祉協議会が地域福祉の中心になって移動販売車などの代替手段により支援を行うことができている。		
課題	各種相談事業やボランティアの養成事業への取り組みによって、地域福祉の強化に努めている。しかし、ボランティア希望者の高齢化によりボランティアシステムへの登録者数が伸び悩んでいる。また、買い物支援事業については、新型コロナウイルス感染対策のため、事業実施の基準や代替手段などの最大限の対策と配慮が必要である。今後も継続的な利用者の募集など、事業拡大のための制度の構築を更に行っていく必要があり、活動が軌道に乗るまでの支援が必要である。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	事業実施が新型コロナウイルス感染症防止のため検討を余儀なくされた点もあるが、事業内容や補助金の内容を他課の委託事業等と整理していく必要がある。		
令和6年度事業計画	・心配ごと相談(毎月第2・4火曜日、第1・3日曜日実施) ・ボランティア養成研修の実施 ・地域組織化事業 ・買い物支援事業		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	39	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	地域共生社会体制整備構築事業			5,220 千円	7,653 千円	7,653千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域住民が抱える様々な福祉の課題を解決するためのふくし総合相談窓口を設置するとともに、その運営を委託して、高齢者、障がい者、子ども、生活が困窮した状態にある方やひきこもり状態にある本人と家族などからの相談に対して適切な助言や支援策を講じるほか、必要に応じて関係機関と連携するなど、地域における福祉の課題を解決する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○地域共生社会体制整備構築事業	ふくし総合相談窓口に寄せられた相談事案をもとに多機関協働事業や地域づくり事業等を検討し、地域共生社会の実現を目指す。 令和2年度からの新規事業で引き続き館林市社会福祉協議会へ委託。 ※令和2年度 総合相談窓口における相談件数 延136件（来所20件、電話99件、メール6件、その他11件） ・地域共生社会体制整備構築事業委託
-----------------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		地域共生社会体制整備構築事業 重層的支援体制整備事業への移行準備事業を実施 ・多機関協働事業実施 ・アウトリーチ事業実施 ・参加型支援事業実施 ・地域づくり事業実施	地域共生社会体制整備構築事業 重層的支援体制整備事業を検討（重層事業として福祉事業の組替えを行い、事業の一体的実施及び予算の一本化を検討）	地域共生社会体制整備構築事業 重層的支援体制整備事業を検討（重層事業として福祉事業の組替えを行い、事業の一体的実施及び予算の一本化を検討）
	事業費	7,653	7,653	7,653
財源	国庫	5,739	5,739	5,739
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,914	1,914	1,914

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,653千円	令和4年度決算額	7,653千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	R2年度 包括的相談支援事業 ふくし総合相談窓口開設 利用実績 延136人(実人数72人) R3年度 包括的相談支援事業 ふくし総合相談窓口開設 利用実績 延127人(実人数59人) 多機関協働事業 支援会議6回 相談支援包括化推進会議1回(書面) R4年度 包括的相談支援事業 ふくし総合相談窓口開設 利用実績 延565人(実人数332人) 多機関協働事業 支援会議12回 重層的支援会議12回 相談支援包括化推進会議1回 参加型支援事業 青空サロン6回 家族会こもれび6回 アウトリーチを通じた継続的支援事業(適宜)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和2年度「包括的相談支援事業」を実施。 令和3年度「多機関協働事業」を実施。 令和4年度「参加支援事業」「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」を実施。 令和5年度より「地域づくり支援事業」を実施予定。					
課題	事業の周知を行い、支援が必要な人に行き届く事業を実施する。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	令和5年度より、重層的支援体制整備事業を本格実施 「包括的相談支援事業」「参加支援事業」「地域づくり事業」の3つを一体的に実施し、それを円滑に実施するための事業として「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」「多機関協働事業」を実施する。					
令和6年度事業計画	重層的支援体制整備事業を本格実施 ・包括的相談支援事業(ふくし総合相談窓口) ・参加型支援事業(青空サロン、家族会こもれび) ・地域づくり事業(フードライブ、フードバンク、ライフライン) ・多機関協働事業(支援会議 重層的支援会議、相談支援包括化推進会議) ・アウトリーチを通じた継続的支援事業(適宜)					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	40	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	ふれあいスポーツ大会事業			744千円	744千円	0千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成
施策の方向	▶3_民生委員・児童委員などとの連携

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域団体・福祉団体・ボランティア等によるふれあいスポーツ大会実行委員会に対して補助し、市民がふれあいの場に一堂に会し、楽しみながら世代間の交流を図る。 館林市社会福祉協議会への委託事業として実施。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ふれあいスポーツ大会事業委託
 高齢者や障がい者等と一緒にあって、楽しみながら健康づくりに励む機会とするために実施する。
- 【対象者】
- ・市内在住・在勤の高齢者、障がい者
 - ・社会福祉に携わる関係者

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		ふれあいスポーツ大会事業	ふれあいスポーツ大会事業	ふれあいスポーツ大会事業
	事業費	744	744	744
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	744	744	744

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ふれあいスポーツ大会の参加者数	985	目標値	985	985	985	985	985
		単位：人	実績値	0	0			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	744千円	令和4年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【ふれあいスポーツ大会参加者数】(大会種目:11種目) 令和2年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和3年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 令和4年度 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業が中止になった。 しかし、高齢者や障がい者のスポーツに接する機会としての役割は担っているため、今後も健康づくりのための有効な機会と位置付けることができる。					
課題	日頃、スポーツに接することが少ない高齢者や障がい者等と一緒に、楽しみながら健康づくりに励む機会としているが、移動手段の確保ができない等の理由から参加者数の増減が激しいため、館林市総合福祉センターの福祉バスを活用して、参加者が増加していくための手段を検討する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	高齢者や障がい者のスポーツに接する機会としての役割は担っているため、今後も健康づくりのための有効な機会として実施を継続する。					
令和6年度事業計画	11月上旬に実施予定 【対象者】 ・市内在住・在勤の高齢者、障がい者 ・社会福祉に携わるもの					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	41	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	同和対策事業		1,061千円	1,025千円	925千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	同和対策事業の実施と福祉の増進を図る。
----------------	---------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 部落解放同盟館林支部への活動費補助
 部落解放同盟館林支部活動費を補助し、福祉の増進を図る。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	部落解放同盟館林支部活動費補助金		部落解放同盟館林支部活動費補助金	部落解放同盟館林支部活動費補助金	
	事業費	1,025	1,025	1,025	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	1,025	1,025	1,025	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	部落解放同盟大会参加人数	目標値	13	13	13	13	13
		実績値	3	36			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,025千円	令和4年度決算額	925千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【部落解放同盟館林支部補助金】 令和2年度 958,000円 令和3年度 529,740円 令和4年度 905,926円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	部落問題解決や差別解消のための啓発活動に継続して参加している。会員数の増加は見込めないが、差別解消を進めていくため活動費の補助は継続していく必要がある。			
課題	同和問題をはじめとする人権問題を積極的に解決するための活動に対して補助している。団体の性質上、会員の増員は見込めないが、部落問題解決のため現状を維持していく必要がある。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	今後も継続して同和対策事業の実施と福祉の増進を図る。			
令和6年度事業計画	部落解放同盟館林支部活動費補助金 958,000円			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	42	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	行旅病人等扶助費		397 千円	397 千円	762千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・行旅病人及び行旅死亡人取扱い法及び市規則により行旅病人の救護、行旅病人の埋葬等を行う ・浮浪者への電車賃等の対策費
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○行旅病人等扶助費

- ・行旅病人等扶助費
 令和3年9月末現在・・・1件
 [葬祭費] 180,150円
 [死体検案料等] 81,550円
 [医療費等] 0円
 [官報広告料] 0円
- ・浮浪者一時対策費
 令和3年9月末現在・・・4件 840円

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	行旅病人等扶助費			
	事業費	397	397	397
財源	国庫	0	0	0
	県費	387	387	387
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	10	10	10

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	397千円	令和4年度決算額	762千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	行旅病人等扶助費			
	令和2年度	変死人扶助件数	3件	480,907円
		浮浪者一時対策支給件数	4件	1,200円
	令和3年度	変死人扶助件数	1件	261,700円
		浮浪者一時対策支給件数	4件	840円
令和4年度	変死人扶助件数	4件	761,188円	
	浮浪者一時対策支給件数	2件	600円	

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	発生した案件全てに適切に対応した。					
課題	行旅病人及び死亡人にかかる費用については、被保護者（死亡の場合は相続人）の負担となるが、求償しても徴収できない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	変死人扶助は増加傾向であり、今後の予算増が見込まれる。（全額県費）					
令和6年度事業計画	・ 行旅病人等扶助 5件 × 15,000円 = 75,000円 ・ 変死人扶助 2件 × 235,500円 = 471,000円 ・ 浮浪者一時対策 30件 × 300円 = 9,000円					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	43	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	応急生活資金貸付金		3,000 千円	3,000 千円	530千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い,誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・低所得世帯で一時的な生活・高額医療費等の支払い困難な家庭に対し必要な資金を貸付し更生と福祉の増進を図る。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○応急生活資金貸付金
令和3年9月末現在・・・10件 300,000円

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	事業費	3,000	3,000	3,000
	財源			
	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,000	3,000	3,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	3,000千円	令和4年度決算額	530千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	応急生活資金貸付金			
	令和2年度	25件	685,000円	
	令和3年度	22件	650,000円	
	令和4年度	18件	530,000円	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	困窮者に対して柔軟に対応できる貸付制度であり、緊急一時的な対応に有効な手段となっている。
課題	貸付金の未収額が多く、令和3年度に不納欠損処理を実施した。今後も徴収強化を含め、未収額の減額を目指す。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	生活・医療費等の支払い困難な家庭に対し必要な資金を貸付し、更生と福祉の増進を図る。
令和6年度事業計画	・生活資金 30,000円×64件=1,920,000円 ・医療資金 80,000円×1件= 80,000円
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	44	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	社会福祉大会		239千円	215千円	204千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い、誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民が健康で幸せな家庭生活を営むことのできる社会を実現するため、誰もが福祉の心を醸成できる連帯感あふれ、地域社会の実現と福祉のまちづくりを希求する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 社会福祉大会の実施
 ・社会福祉に対する市民の理解を深めるため、手話人形劇を実施する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	手話人形劇報償費				
	事業費	215	215	215	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	215	215	215	

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
社会福祉大会参加者人数		1,042	目標値	1,045	1,046	1,047	1,049	1,050
	単位：人		実績値	0	115			
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	215千円	令和4年度決算額	204千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【令和3年度】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 【令和4年度】 日時：令和4年10月10日（月・祝）午後2時5分～午後3時40分 演題：「ハッピーコミュニケーション～手話で遊ぼう、手話で歌おう～」 講師：中野 佐世子（人権教育・啓発講師/手話通訳士） 参加者：115名			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	市民に福祉のまちづくりを広く周知することができた。					
課題						
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	当初の目的を達成したため、事業廃止					
令和6年度事業計画	事業廃止					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	45	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	いきいきタクシー（福祉タクシー）支援事業			13,899千円	13,899千円	10,235千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い、誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_民生委員・児童委員などとの連携

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障がい者等が社会生活を営むうえで外出をする際のタクシー料金を補助し、社会活動の便宜を図る。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○いきいきタクシー料金補助	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者等へタクシー料金を補助する。 【交付内容】@500円×36枚 【交付対象者】 <ul style="list-style-type: none"> ・身体障がい者等（身体障害者手帳1・2級、精神障害者手帳1・2級、療育手帳A・B(中)） ・高齢者（要支援・要介護認定を受けている第1号・第2号被保険者） ・母子・父子家庭（四輪自動車を保有しない母子・父子家庭）
---------------	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	いきいきタクシー料金補助				
	事業費	13,899	13,899	13,899	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	13,899	13,899	13,899	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	いきいきタクシー券利用枚数	目標値	22,941	22,955	22,970	22,985	23,000
		実績値	20,296	20,133			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	13,899千円	令和4年度決算額	10,235千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度】 ・高齢者（要介護・要支援） 1,999人 ・母子・父子家庭 14人 ・身体障がい者等 285人 【令和3年度】 ・高齢者（要介護・要支援） 1,953人 ・母子・父子家庭 8人 ・身体障がい者等 271人 【令和4年度】 ・高齢者（要介護・要支援） 1,931人 ・母子・父子家庭 8人 ・身体障がい者等 256人			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	交通弱者である高齢者・障がい者が地域との関わりや日常生活を営むための外出支援として、今後も継続した事業展開が必要な事業である。しかし、類似している高齢者通院タクシー事業との統合を踏まえた事業展開を検討していく必要がある。					
課題	高齢者通院タクシー事業と同様であるが、高齢者の交付数が団塊世代の高齢化により、年々増加している。しかし、交付者数に対して、実際の利用者数の割合が低い状況にある。高齢者通院タクシーとの交付枚数や利用制限など内容の統一化を検討していく必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input checked="" type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	高齢者通院タクシーとの統合化に向けて、改善を進めていく。					
令和6年度 事業計画	【交付内容】@500円×36枚 【交付対象者】 <input type="checkbox"/> 身体障がい者等 ・身体障害者手帳1・2級 精神障害者手帳1・2級 療育手帳A・B(中) <input type="checkbox"/> 高齢者（要支援・要介護認定を受けている第1号・第2号被保険者） <input type="checkbox"/> 母子・父子家庭（四輪自動車を保有しない母子・父子家庭）					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	46	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	中国残留邦人等支援事業		16,333 千円	16,333 千円	14,759千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・中国残留邦人等の置かれている特別な事情に鑑み、老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしの実現を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○中国残留邦人等支援事業
 支援対象者：6世帯6名（令和3年7月29日現在）
 ※令和3年7月28日 1名死亡

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	中国残留邦人等支援事業			
	事業費	16,333	16,333	16,333
財源	国庫	12,455	12,455	12,455
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,878	3,878	3,878

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	16,333千円	令和4年度決算額	14,759千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	中国残留邦人等支援事業			
	令和2年度	6世帯7人	生活支援費	15,495千円
	令和3年度	6世帯7人	生活支援費	11,108千円
	令和4年度	6世帯6人	生活支援費	14,714千円

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	対象者に対して適切な支援を実施した。					
課題	対象者の高齢化が進んでおり、医療費及び介護費の増加が見込まれる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	県委嘱の中国帰国者支援・相談員が通訳として配置し対応する。					
令和6年度事業計画	中国残留邦人への支援給付費の支給 4世帯4人(令和5年4月1日現在) 生活支援費 13,815,000円					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	47	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
3・1・1	生活困窮者自立支援事業			16,091 千円	15,649 千円	9,782千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援員（任用職員）1名、就労支援員（任用職員）1名を雇用し、現に生活に困窮している者が生活保護に至らないよう相談業務を行い、早期に包括的な支援を行う。 ・離職等により経済的に困窮し住居を喪失、もしくは喪失しそうな者に対し住居確保給付金を支給し安定した住居の確保と就労自立を図る。（原則3か月間 最長9か月間） ・生活困窮世帯の児童生徒に早期からの学習習慣の定着と進学に向けた支援を行い、高校卒業後の就労機会の拡充を図り、貧困の連鎖の解消を図る。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
○生活困窮者自立支援事業【重要事業】	<p>国の制度改正等に応じ生活困窮者へ必要な支援を行う。 住居確保給付金については新型コロナウイルス感染症対策事業として適用要件を緩和。 （令和3年11月30日付厚生労働省通知により、3か月間の再支給申請期間が令和4年3月31日へ延長）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者自立支援事業 住居確保給付金の相談及び支給決定業務（扶助費 令和2年度の実績 100世帯 15,168,100円） 総合支援資金特例貸付相談業務（貸付業務は社会福祉協議会） ・子どもの学習支援 小学生及び中学生を対象とし、シルバー人材センターの「おさらい教室」により、生活保護受給世帯及び準要保護世帯へ学習支援を行う。市内小・中学校に周知し、利用促進を行う。 ※平成29年度 シルバー人材センターの「おさらい教室」（国語・算数）を活用し、委託事業として実施（小学生のみ） ※平成30年度 中学生を対象に「おさらい教室」（英語）を新規で実施 令和3年度の実施状況（9月末現在） 小学生 22人、中学生 9人

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		生活困窮者自立支援事業【重】	生活困窮者自立支援事業【重】	生活困窮者自立支援事業【重】
	事業費	15,649	15,649	15,649
財源	国庫	11,233	11,233	11,233
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	11	11	11
	一般財源	4,405	4,405	4,405

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	15,649千円	令和4年度決算額	9,782千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	生活困窮者自立支援事業			
	令和2年度	住居確保給付金	100世帯	15,168,100円
		子どもの学習支援	延265人	
	令和3年度	住居確保給付金	82世帯	9,857,800円
	子どもの学習支援	延341人		
令和4年度	住居確保給付金	35世帯	4,024,800円	
	子どもの学習支援	延520人		

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	住居確保給付金は新型コロナウイルス感染症対策事業として実施したが、令和2～3年度と比較するとは大幅に件数が減少している。 子どもの学習支援は年間を通して実施することができ、令和2～3年度と比較すると増加している。					
課題	住居確保給付金：生活再建に向けた本人の主体性を引き出すことが困難である。 子どもの学習支援：教科（中学生・数学等）の増加が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	住居確保給付金は就労に向けたさらなる支援を行い、早期自立に向けた支援を強化する。 子どもの学習支援は教科（中学生・数学等）の増加を検討する。 重層的支援体制整備事業として、生活困窮者のための地域づくり事業を開始予定					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自立相談支援 ・ 住居確保給付金 単身世帯120世帯、複数世帯60世帯 ・ 子どもの学習支援 小学生30人、中学生10人 ・ 生活困窮者のための地域づくり事業（フードドライブ、フードバンク、ライフライン）開始予定 					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	48	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	社会福祉法人指導監査経費			344千円	344千円	28千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会福祉法人の指導監査を行うことにより、法人の適正な運営と円滑な事業の経営の確保を図るとともに、利用者本位の福祉サービスの提供により、利用者が安心して利用できる施設とする。さらに不適正な処遇や不正請求等に機動的に対応するとともに、良質なサービス事業者の育成と分かりやすい利用者サービスの一層の充実を図るため、その指導に努める。また、介護サービス事業所等の実地指導も同様に実施する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○社会福祉法人等の指導監査の実施

法人監査	5法人
介護事業所等実地指導	17事業所
放課後児童クラブ実地指導	8クラブ
特定教育・保育施設実地指導	3事業所
相談支援事業所指導監査	1事業所

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		社会福祉法人指導監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査	社会福祉法人指導監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査	社会福祉法人指導監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査
	事業費	344	344	344
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	344	344	344

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
一般指導監査等実施件数		23	目標値	23	23	23	23	23
	単位：件		実績値	10	16			
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	344千円	令和4年度決算額	28千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度】 介護事業所実地指導 1事業所 【令和3年度】 法人監査 1法人 介護事業所実地指導 10事業所 【令和4年度】 法人監査 3法人 介護事業所実地指導 11事業所 放課後児童クラブ実地指導 2事業所			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	監査等対象事業所が増加しているが、定期的な監査等が法令に定められていることから、年間計画により適正に進め、各事業所へ改善等にむけた指導・助言を行うことができた。 また、対象事業所等の範囲が介護・こども・障がいと多岐にわたることから知識の習得に時間がかかるため、継続して監査体制の充実を図る必要がある。					
課題	社会福祉法人、各介護事業所等の監査等を定期的の実施しなければならないほか、特別監査として、特に指導が必要と思われる事業所等については、緊急的に監査を実施しなければならない、専門的知識の蓄積が必要である。 さらに保育の無償化が実施されたことに伴い、特定子ども・子育て支援施設等への確認監査、こども園化に伴う特定保育施設指導監査を実施できる体制を整える必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	社会福祉法および介護保険法、子ども・子育て支援法等法令により指導監査・実地指導等が所轄庁の義務とされているため、監査等計画に基づき実施していく。					
令和6年度 事業計画	法人監査 介護事業所等実地指導 放課後児童クラブ実地指導 特定子ども・子育て支援施設等指導監査 特定教育・保育施設実地指導 相談支援事業所指導監査					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	49	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・1	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業			0 千円	3,810 千円	5,731千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い、誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	新型コロナウイルス感染症の影響により生活に困窮する世帯に対して、館林市社会福祉協議会が窓口となり、緊急小口資金や総合支援資金の特例貸付などによる支援を行ってきた。しかし、影響が長期化する中で、既に総合支援資金等の貸付が限度額に達するなどにより、特例貸付を利用できない困窮世帯が存在する。こうした世帯に対して就労による自立を図るため、また、それが困難な場合には円滑に生活保護の受給へつなげるために、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を支給する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業

令和3年7月から事業実施。初回の期間延長により令和3年11月末から令和4年2月末となり、2回目の期間延長により令和4年6月末となり、対象者が緊急小口資金もしくは総合支援資金(初回)を借り終えた人へと変更。更に、再支給制度も追加された。

令和3年度の実施状況 (R4.1月末現在)

支給決定者数

単身世帯 (6万円/月) 14世帯
2人世帯 (8万円/月) 3世帯
3人以上世帯 (10万円/月) 4世帯

支給済額

3,040,000円

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業		新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業
	事業費	3,810	0	0
財源	国庫	3,808	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	2	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	3,810千円	令和4年度決算額	5,731千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給 令和2年度 事業なし 令和3年度 24世帯 3,660,000円 令和4年度 22世帯 3,520,000円 ※令和3年7月から事業実施。			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	対象者に対して適切な支援を実施した。					
課題	国の事業が終了したため、令和5年度より廃止					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	国の事業が終了したため、令和5年度より廃止					
令和6年度事業計画	国の事業が終了したため、令和5年度より廃止					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	50	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・6	総合福祉センター運営			86,088千円	103,179千円	97,645千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_多機関連携による包括的な相談窓口の整備
施策の方向	▶2_地域活動やボランティアの担い手の育成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ふれあいと安らぎのある地域社会の実現を目指す拠点として、指定管理者への施設運営および維持管理を委託し、拠点整備を図る。 ・指定管理：館林市社会福祉協議会（指定期間：5年間）
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○総合福祉センター指定管理者の指定（指定期間：令和4年4月1日～令和9年3月31日）

- 総合福祉センター設備等改修工事【新規】
- ・1階エントランスホール系空調設備改修工事
 - ・2階福祉作業所計空調設備改修工事

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業スケジュール		・総合福祉センター指定管理委託 ・総合福祉センター空調設備等改修工事【新】	・総合福祉センター指定管理委託 ・総合福祉センター外壁等補修工事	・総合福祉センター指定管理委託 ・総合福祉センター外壁等補修工事
事業費		103,179	444,229	164,751
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	103,179	444,229	164,751

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	総合福祉センター運営協議会の開催	2	目標値	2	2	2	2	2
		単位：回	実績値	2	0			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	103,179千円	令和4年度決算額	97,645千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度】 指定管理委託料 73,154,000円 工事費 9,801,000円 【令和3年度】 指定管理委託料 68,735,000円 調査委託料 1,210,000円 工事費 13,046,000円 【令和4年度】 指定管理委託料 77,700,000円 設計委託料 6,369,000円 工事費 11,484,000円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	長期的な工事実施計画を策定し、市民の地域福祉の拠点施設としての役割を果たすため、継続的な工事・修繕・補修を行っている。 令和4年度から5年間の新たな指定管理期間の運営について仕様書の変更を行ったことから、市での運営協議会設置を廃止した。			
課題	計画的な設備の修繕や改修工事を行っているが、施設の老朽化によって年々新たな修繕が必要な設備等が発生している状況である。大規模な改修工事等を検討する必要がある。また、令和4年度から新たな指定管理期間となることから、指定管理者と連携してセンターの利活用を検討していく必要がある。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	施設の老朽化に対応した計画的な修繕を実施する。また、指定管理者による施設運営が適正なものとなるよう、指定管理者への指導・確認を行っていく。			
令和6年度 事業計画	総合福祉センター指定管理委託 総合福祉センター壁面改修工事 総合福祉センター浴室改修工事			
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	51	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
3・3・1	生活保護総務			16,173 千円	16,508 千円	16,487千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・診療報酬明細点検（任用職員1名を配置）の充実を図る。 ・就労支援員（任用職員1名）の配置により、業務の適正化と自立支援を図る。 ・面接相談員（任用職員1名）の配置により、業務の適正化を図る。 ・生活保護支援員（警察0B）（任用職員1名）の配置により、不正受給を防止し、業務の適正化を図る。 ・生活保護システムを用い、生活保護の事務処理省力化を図り、生活保護費算定事務、ケース記録等の定例事務処理及び医療・統計・介護などの処理を迅速化し、それにより本来の業務（相談、援助、調査等）に従事し、生活保護の適正実施を推進する。 ・社会福祉主事資格を取得し、業務の適正化を図る。
-----------------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○生活保護総務【重要事業】

業務に応じた会計年度職員の業務管理を行い、生活保護制度を適正に運営する。
生活保護制度改正に対応できるようシステム管理を行う。
人事異動に伴い、資格取得が必要な場合は適宜対応する。

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	生活保護総務【重】			
	事業費	16,508	16,508	16,508
財源	国庫	7,166	7,166	7,166
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	20	20	20
	一般財源	9,322	9,322	9,322

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	生活保護受給世帯から自立した世帯数	19	目標値	19	19	19	19	19
		単位：世帯	実績値	11	9			
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	16,508千円	令和4年度決算額	16,487千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	生活保護受給世帯から自立した世帯数			
	令和2年度 19人 令和3年度 11人 令和4年度 9人			
	生活保護			
	令和2年度 402世帯 467人 保護率0.63% 令和3年度 385世帯 444人 保護率0.59% 令和4年度 390世帯 446人 保護率0.60%			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	稼働年齢層の受給者に対してハローワークと連携し、就労支援等を行うことにより経済的な自立を促した。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、目標値には達成しなかった。					
課題	最後のセーフティネットとしての制度であるが、各種調査の他、稼働能力の判断など、保護の決定に時間と労力を要する。また、制度に対する信頼性を確保し、不正受給を防止するための厳正な対応が求められている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
令和6年度事業計画	・被保護者就労支援事業 ・レセプトを活用とした医療扶助適正化事業 ・体制整備強化事業 ・警察との連携協力体制強化事業 ・医療扶助オンラインシステム改修・運用テスト等の対応					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	52	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 保護係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・3・2	扶助費		945,017 千円	896,299 千円	758,693千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_生活困窮者世帯などへの就労支援の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	・困窮の程度に応じ、健康で文化的な最低限度の生活を維持させながら、各種指導を行い自立の助長を図る。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○扶助費（生活保護）

新型コロナウイルス感染症対策事業の状況を把握し、必要に応じ生活保護制度の適用を検討する。

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	扶助費（生活保護）			
	事業費	896,299	896,299	896,299
	国庫	671,474	671,474	671,474
	県費	6,690	6,690	6,690
	市債	0	0	0
財源	その他	1,000	1,000	1,000
	一般財源	217,135	217,135	217,135

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	896,299千円	令和4年度決算額	758,693千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	生活保護扶助費			
	令和2年度	402世帯	467人	802,388,412円
	令和3年度	385世帯	444人	754,015,897円
	令和4年度	390世帯	446人	758,692,697円

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	扶助費（生活・教育・住居・介助・医療・出産・生業・葬祭）及び施設（救護）事務費を適切に支給した。
課題	被保護者の高齢化が進み、医療扶助や介護補助の増加が見込まれる。 生活困窮者自立支援事業が終了するため、生活保護申請者の増加が見込まれる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	要保護者に生活、医療、介護等にかかる費用を適正に支出し、持続可能な制度の運用に努める。
令和6年度事業計画	生活扶助費 265,000,000円 住宅扶助費 110,000,000円 教育扶助費 1,995,000円 介護扶助費 39,765,000円 医療扶助費 401,600,000円 出産扶助費 596,000円 生業扶助費 855,000円 葬祭扶助費 1,500,000円 施設事務費 39,944,000円
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	53	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 社会係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・5・1	災害救助費		246千円	246千円	60千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶05_地域で支え合い誰もが安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_災害発生に備えた平時からの情報共有

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	火災・爆発ならびに浸水等による罹災者に対し、見舞金を支給し市民福祉の増進を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○罹災者救助見舞金の支給	
火災等により、住宅が罹災した方に対し、罹災直後に生活の再建のために活用してもらう見舞金を支給する。	
・ 弔慰金	30,000円
・ 全焼	30,000円
・ 半焼	20,000円
・ 床上浸水	10,000円

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業費	246	246	246	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
		その他	0	0	0
		一般財源	246	246	246
事業スケジュール		罹災者への見舞金の支給	罹災者への見舞金の支給	罹災者への見舞金の支給	

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	災害見舞金の支援件数	8	目標値	5	4	3	2	0
		単位：件	実績値	3	2			
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	246千円	令和4年度決算額	60千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【令和2年度実績】 ・弔慰金 30,000円×0件= 0円 ・全焼 30,000円×0件= 0円 ・半焼 20,000円×1件=20,000円 ・床上浸水 10,000円×0件= 0円 【令和3年度実績】 ・弔慰金 30,000円×0件= 0円 ・全焼 30,000円×1件=30,000円 ・半焼 20,000円×2件=40,000円 ・床上浸水 10,000円×0件= 0円 【令和4年度実績】 ・弔慰金 30,000円×0件= 0円 ・全焼 30,000円×2件=60,000円 ・半焼 20,000円×0件= 0円 ・床上浸水 10,000円×0件 =0円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	罹災直後に訪問することで、生活再建に向け支援を行うことができる。			
課題	火災等による罹災者に対し、罹災直後に見舞金を支給し生活の再建のために活用してもらうとともに、訪問時に各種相談窓口等の案内を行っている。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	罹災者の生活再建に向け支援を継続して行っていく。			
令和6年度 事業計画	弔慰金 30,000円 全焼 30,000円 半焼 20,000円 床上浸水 10,000円			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	54	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・1	老人福祉施設整備事業		18,620千円	57,827千円	0千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	館林市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画に基づき、認知症グループホームを整備し、高齢者が住み慣れた地域での暮らしの継続を支援する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

認知症グループホーム新設 18床
地域密着型特定施設入居者生活介護設置事業者の募集 20床

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		認知症グループホーム建設 (2ユニット18床新設)	地域密着型特定施設入居者生活介護建設	未定 (第8期介護保険事業計画期間外)
	事業費	57,827	0	0
財源	国庫	0	0	0
	県費	57,827	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	認知症対応型共同生活介護（グループホーム）床数（高齢者いきいきプラン）	153	目標値	-	-	171	-	-
		単位：床	実績値	-	-			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	57,827千円	令和4年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和3年度中に公募を行ったが、実施事業者が現れなかったため、再度公募を実施。 認知症グループホーム建設(2ユニット18床新設)事業者の選定を実施した。			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	令和3年度中の公募により事業者を選定し令和4年度中の施設建設を予定したが、応募者がなく再度公募を令和4年度に実施し、施設建設を令和5年度に延期したため。					
課題	経済情勢及び担い手確保の問題から、今後においても施設建設を行う事業者が現れないことが懸念される。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	高齢者いきいきプランに基づき施設整備等を検討する。					
令和6年度事業計画	新規施設建設事業の予定なし					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	55	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・1	敬老の日関係事業		13,633千円	12,502千円	11,420千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	家庭及び地域における敬老思想の普及、啓発のため慶祝訪問を実施し、長寿を祝福することにより、敬老意識の高揚を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

市内に居住する高齢者に対し、敬老祝金を贈る。

○80歳 年額 5,000円 866人 (R1:692人、R2:755人、R3:871人)

○90歳 年額 10,000円 360人 (R1:291人、R2:331人、R3:325人)

○95歳 年額 15,000円 129人 (R1:120人、R2:111人、R3:122人)

○100歳 年額100,000円 23人 (R1: 17人、R2: 24人、R3: 31人)

また上記に加え、100歳到達者についてはその誕生日に居所を訪問し、慶祝状等を贈呈する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	敬老祝金の贈呈				
	事業費	12,502	12,500	12,500	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	12,502	12,500	12,500	

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	敬老祝金贈与事業対象者数	1,120	目標値	1,260	1,330	1,400	1,470	1,541
		単位：人	実績値	1,349	1,312			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	12,502千円	令和4年度決算額	11,420千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	市内に居住する高齢者に対し、敬老祝金を贈った。 ○80歳 年額 5,000円 851人 (R1:692人、R2:755人、R3:871人) ○90歳 年額 10,000円 332人 (R1:291人、R2:331人、R3:325人) ○95歳 年額 15,000円 109人 (R1:120人、R2:111人、R3:122人) ○100歳 年額100,000円 20人 (R1:17人、R2:24人、R3:31人) また上記に加え、100歳到達者についてはその誕生日に居所を訪問し、慶祝状等を贈呈した。		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B		
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法に基づく敬老思想の普及、啓発に寄与することを目的とした事業として実施しており、一定の効果が得られていると考える。		
課題	2030年まで続くと見込まれる高齢化に伴う対象者の増加による費用負担増		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	高齢化に伴う対象人口の増加が見込まれるが、敬老思想の普及、啓発のため、継続して実施する。		
令和6年度事業計画	敬老祝金の贈呈		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	56	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・1	合同金婚式等事業		4,127千円	3,030千円	1,787千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	長きにわたり、苦楽を共にし、家庭の隆昌及び社会に貢献した夫婦を祝福する。
----------------	--------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<合同金婚式> 令和3年度より申出制として実施。結婚50年を迎える夫婦に対して慶祝状及び記念品を贈呈し、祝意を表す。
<ダイヤモンド婚慶祝> 結婚60年を迎える夫婦に対して慶祝状及び記念品を贈呈し、祝意を表す。
<特別慶祝> 結婚70年を迎える夫婦に対し、慶祝状と記念品を贈呈し、祝意を表す。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	合同金婚式典開催		合同金婚式典開催	合同金婚式典開催
	ダイヤモンド婚慶祝訪問		ダイヤモンド婚慶祝訪問	ダイヤモンド婚慶祝訪問
	特別慶祝訪問		特別慶祝訪問	特別慶祝訪問
	事業費	3,030	3,000	3,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,030	3,000	3,000

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	合同金婚式出席率	39.6	目標値	43	44.7	46.4	48.1	50
		単位：%	実績値	41.9	35.6			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	2,892千円	令和4年度決算額	1,787千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	合同金婚式典開催 令和2年度 対象組数 393組 (コロナにより式典中止) 令和3年度 申出数 160組 式典参加 67組 令和4年度 申出数 163組 式典参加 58組			
	ダイヤモンド婚慶祝訪問 令和2年度 対象組数 77組 令和3年度 対象組数 88組 令和4年度 対象組数 86組			
	特別慶祝 令和2年度 対象組数 2組 令和3年度 対象組数 2組 令和4年度 対象組数 7組			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	指標については、概ね目標を達成している。 老人福祉法に基づく敬老思想を啓発する事業として、一定の効果が得られていると考える。					
課題	・対象者への周知徹底					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input checked="" type="checkbox"/> 一部廃止)					
	老人福祉法に基づく敬老思想を啓発するため事業を継続する。特別慶祝については、廃止も含め検討を行う。					
令和6年度事業計画	・合同金婚式典開催 ・ダイヤモンド婚慶祝訪問 ・特別慶祝訪問					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	57	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・1	施設入所者援護事業		105,699千円	106,088千円	90,039千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06 高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	老人福祉法第11条の規定に基づき、市の責務としておおむね65歳以上の要援護高齢者を施設に措置し、生活の安定を図る。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>入所措置関連 老人福祉法に基づき、入所措置基準に基づく入所判定を行う。</p> <p>高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託 老人福祉法に基づき、養護老人ホームに入所措置に係る事業を委託する。</p> <p>短期入所事業委託 養護老人ホーム自立生活支援短期入所事業実施規則に基づき、一時的に養護する必要がある市民の短期入所事業を、館林養護老人ホーム伸楽園に委託する。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	入所判定委員会実施	入所判定委員会実施	入所判定委員会実施	入所判定委員会実施
	高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託	高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託	高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託	高齢者援護施設（養護老人ホーム）委託
	短期入所事業委託	短期入所事業委託	短期入所事業委託	短期入所事業委託
	事業費	106,088	106,000	106,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	8,993	9,000	9,000
	一般財源	97,095	97,000	97,000

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	養護老人ホーム措置入所者数	目標値	39	39	40	40	40
		実績値	38	33			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	105,225千円	令和4年度決算額	90,039千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	入所者数 (令和2年度: 33人 令和3年度: 38人 令和4年度: 33人)			
	入所措置関連		入所判定	
	令和2年	2回	5名	
	令和3年	3回	8名	
	令和4年	2回	2名	
	高齢者援護施設(養護老人ホーム)委託			
令和2年	88,068,347円			
令和3年	81,240,680円			
令和4年	87,430,109円			
短期入所事業委託				
令和2年	7,002,600円			
令和3年	5,292,600円			
令和4年	2,476,800円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法に基づき実施する事業で、必要なかたに適切な措置を行っている。					
課題	・委託事業者による、施設の運営維持。					
【Action】 今後の方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	老人福祉法に基づき、被措置者の措置体制を維持する。					
令和6年度事業計画	・入所判定委員会実施 ・高齢者援護施設(養護老人ホーム)委託 ・短期入所事業委託					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	58	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・2	シルバー人材センター運営費補助金		18,000千円	18,000千円	18,000千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高年齢者等の雇用の安定等に関する法律により設立された公益社団法人館林市シルバー人材センターに対し、補助金を交付し、高齢者等の職業の安定及び福祉の増進を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

当センターは、市民からの発注による受託事業、派遣事業の受注増により健全運営を図っているが、高齢者等の職業の安定のため、継続した支援を行う。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		センターの人件費・管理・運営及び事業実施に要する経費への補助	センターの人件費・管理・運営及び事業実施に要する経費への補助	センターの人件費・管理・運営及び事業実施に要する経費への補助	
	事業費	18,000	18,000	18,000	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	18,000	18,000	18,000	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	18,000千円	令和4年度決算額	18,000千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	補助金交付実績 令和2年度 18,000,000円 令和3年度 18,000,000円 令和4年度 18,000,000円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者の雇用の安定に関する法律に基づき、高齢者の職業の安定及び福祉の増進に要するシルバー人材センターの経費を助成し、高齢者の雇用及び経営安定のため支援を行う。					
課題	新型コロナウイルス感染症の影響等により、シルバー人材センターの受託事業等が減少していたが、若干の回復傾向にあるものの、なり手不足等の影響が残っている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	高齢者雇用の安定及び福祉増進のため、支援を継続する。					
令和6年度事業計画	シルバー人材センター運営費補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	59	重要事業	○	総合戦略		担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
3・4・2	生きがいと健康づくり推進事業			5,495千円	4,985千円	4,116千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_高齢者の社会参加の促進と自立した生活の支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者の自主的活動等を援助することにより、高齢者にふさわしい魅力ある地域社会を築く
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

生きがいと健康づくり推進事業【重要事業】

- ・高齢者クラブ活動費補助
館林市寿連合会、地区寿連合会、各単位クラブに対する補助
- ・高齢者魅力ある地域づくり事業
高齢者スポーツ広場設置等の補助
- ・コミュニティーサロン設置運営費補助
社会福祉協議会の実施するふれあい・いきいきサロン設置運営事業への補助

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	生きがいと健康づくり推進事業 【重】	生きがいと健康づくり推進事業 【重】	生きがいと健康づくり推進事業 【重】	生きがいと健康づくり推進事業 【重】
	・高齢者クラブ活動費補助	・高齢者クラブ活動費補助	・高齢者クラブ活動費補助	・高齢者クラブ活動費補助
	・高齢者魅力ある地域づくり事業	・高齢者魅力ある地域づくり事業	・高齢者魅力ある地域づくり事業	・高齢者魅力ある地域づくり事業
	・コミュニティーサロン事業補助	・コミュニティーサロン事業補助	・コミュニティーサロン事業補助	・コミュニティーサロン事業補助
	事業費	4,985	4,985	4,985
財源	国庫	0	0	0
	県費	1,172	1,172	1,172
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	3,813	3,813	3,813

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	コミュニティーサロンの件数	39	目標値	41	42	43	44	45
		単位：件	実績値	35	34			
活動指標	寿連合会の会員数	3,404	目標値	3,269	3,202	3,135	3,068	3,000
		単位：人	実績値	2,719	2,456			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	4,985千円	令和4年度決算額	4,116千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	コミュニティサロンの件数			
	令和2年度	36か所		
	令和3年度	35か所		
	令和4年度	34か所		
	寿連合会の会員数			
令和2年度	3,264人			
令和3年度	2,719人			
令和4年度	2,456人			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	コロナ禍により、サロンの件数、寿連合会の会員数とも減少しているが、老人福祉法の理念により高齢者の生きがいと健康づくりに資する事業を継続して実施しており、活動の維持が図られている。					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・組織内の高齢化により、組織の維持、活動の継続が難しくなっている。 ・高齢者の余暇の多様化や、就業年齢の上昇により後継年齢層の加入がない。 					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	サロンの運営支援を行う社会福祉協議会与連携し、高齢者の居場所づくりのための事業を継続する。寿連合会員数は減少傾向にあるが、高齢者の生きがいづくりのため事業を継続する。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者クラブ活動促進費補助 ・高齢者魅力ある地域づくり事業 ・スポーツ広場設置補助 ・コミュニティサロン事業補助 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	60	重要事業	○	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	高齢者支援係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
3・4・3	高齢者在宅サービス推進事業			53,313千円	50,017千円	39,636千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶ 2_高齢者の権利擁護の促進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が安全で安心して在宅生活を送ることができるよう、さまざまなサービスを提供し支援する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- 高齢者在宅サービス推進事業【重要事業】
- ①緊急通報装置設置事業
 - ②保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料助成
 - ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業
 - ④寝具乾燥殺菌事業
 - ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業
 - ⑥救急医療情報キット設置事業
 - ⑦認知症高齢者権利擁護事業
 - ⑧市民後見人養成事業
 - ⑨介護用車両購入費等補助金交付
 - ⑩介護慰労金
 - ⑪尿漏れパット給付事業
 - ⑫日常生活用具給付事業

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		（主要な事業とその取組内容）に 同じ	（主要な事業とその取組内容）に 同じ	（主要な事業とその取組内容）に 同じ
	事業費	50,017	50,000	50,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	1,343	1,343	1,343
	市債	0	0	0
	その他	8,698	8,698	8,698
	一般財源	39,976	39,959	39,959

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	【市民アンケート】高齢者（福祉・サービス、社会参加など）の対策の満足度	25.2	目標値	-	28.2	-	-	31.2
		単位：%	実績値					
活動指標	配食サービス利用人数（高齢者いきいきプラン）	115	目標値	120	122	125	-	-
		単位：人	実績値	114	106			
活動指標	市民後見人養成講座受講者延人数（高齢者いきいきプラン）	62	目標値	77	77	92	-	-
		単位：人	実績値	69	69			
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	50,017千円	令和4年度決算額	39,636千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	③配食サービス利用人数			
	令和2年度	114人	19,592食	
	令和3年度	114人	19,040食	
	令和4年度	106人	17,742食	
	⑨市民後見人養成講座受講者延人数			
	令和2年度	62人		
	令和3年度	69人		
	令和4年度	69人	(フォローアップ講座の実施)	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	老人福祉法の趣旨に基づき在宅支援サービスを実施し、継続した支援を行っている。 市民後見人養成事業では、新型コロナによる養成講座の実施延期や、受講希望者が減少したが、新たに市民後見員が選任されるなど、事業の成果が見られた。					
課題	高齢者福祉サービスの利用ニーズに対してより効果的な事業の検討					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	高齢者が安全で安心して在宅生活を送ることができるよう、利用ニーズに対しての制度の在り方を検討する。 介護保険制度での代替実施が可能な事業については、次期介護保険計画の策定時に介護保険サービスへの移行を検討する。					
令和6年度事業計画	①緊急通報装置設置事業 ②保険適用外はり・きゆう・マッサージ施術料助成 ③ひとり暮らし高齢者等配食サービス事業 ④寝具乾燥殺菌事業 ⑤在宅ねたきり高齢者等出張理・美容サービス事業 ⑥救急医療情報キット設置事業 ⑦認知症高齢者権利擁護事業 ⑧市民後見人養成事業 ⑨介護用車両購入費等補助金交付 ⑩介護慰労金 ⑪尿漏れパット給付事業 ⑫日常生活用具給付事業 ⑬高齢者補聴器購入費補助事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	61	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・3	高齢者向け住宅整備事業		1,041千円	1,041千円	102千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が居住する住宅を改造又は補修する経費に対して補助を行い、住みよい生活環境の改善を図る
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

高齢者住宅改修費補助	
高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	高齢者住宅改修費補助		高齢者住宅改修費補助	高齢者住宅改修費補助
	高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給		高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給	高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給
事業費		1,041	1,041	1,041
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,041	1,041	1,041

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
活動指標	高齢者住宅改修費補助利用件数	0	目標値	1	1	1	2	2
		単位：件	実績値	0	1			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,041 千円	令和4年度決算額	102 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	高齢者住宅改修費補助利用件数 令和2年度 2件 令和3年度 0件 令和4年度 1件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている
評価根拠	老人福祉法に基づき、在宅における生活環境の改善を図ることを目的とする事業であるが、本年度は事業の利用が1件だった。			
課題	介護保険サービスの居宅介護住宅改修事業との棲み分け			
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	補助制度の見直しを検討。			
令和6年度事業計画	・高齢者住宅改修費補助 ・高齢者住宅整備資金融資斡旋及び利子補給			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	62	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 高齢者支援係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・4・4	老人福祉センター運営		7,300千円	9,145千円	12,132千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市民の健康づくりを推進し、総合的な保健サービスを図るとともに、高齢者の教養を深めその健康を増進し、生きがいを高めるため、各種事業を実施する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

老人福祉センターの管理運営
教養講座の実施
高齢者いきいきセミナーの開催

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	教養講座		教養講座	教養講座
	いきいきセミナー		いきいきセミナー	いきいきセミナー
	照明設備等更新工事		照明設備等更新工事	各種設備等更新工事
	事業費	9,145	9,000	9,000
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	439	439	439
	一般財源	8,706	8,561	8,561

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	老人福祉センター利用者数（高齢者いきいきプラン） 単位：人	目標値	10,000	11,000	11,000	-	-
		実績値	5,865	9,553			
活動指標	老人福祉センター利用自主グループ数 （高齢者いきいきプラン） 単位：団体	目標値	17	17	17	-	-
		実績値	14	13			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	14,430千円	令和4年度決算額	12,132千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	老人福祉センター利用者数			
	令和2年度 4,820人			
	令和3年度 5,865人			
	令和4年度 9,553人			
老人福祉センター利用自主グループ数				
令和2年度 16団体				
令和3年度 14団体				
令和4年度 13団体				

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	感染対策を徹底しながら開館し、各団体及び行政の主催事業を実施した。 前年度と比較し、利用者数の回復が見られた。					
課題	・ 教養講座やいきいきセミナーについては、高齢者のニーズに合わせて内容を見直し、参加者の確保を図る。 ・ 施設の老朽化に伴う維持・修繕が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	老人福祉法に基づく教養の向上を目的に、老人福祉センター運営と教養講座及び高齢者いきいきセミナーを実施する。					
令和6年度 事業計画	・ 教養講座 ・ いきいきセミナー ・ エレベーターの改修					
予算規模 見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	63	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護特別会計	介護予防・生活支援サービス事業		227,481 千円	259,361 千円	185,049千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	介護保険第1号被保険者（65歳以上のかた）で、要支援1・2に認定されたかたや、市が行う基本チェックリストにより事業対象者に判定されたかたが利用できる事業で、高齢者の介護予防と自立した日常生活の支援を行う。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

訪問型サービスA及び訪問型サービスBの新たな担い手を養成し、多様なサービスの充実を図るとともに、高齢者のニーズに応じた多様なサービスを創設する。
国の方針に対応できるように、関係機関との連携を図る。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント		訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント	訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント
	事業費	259,361	259,361	259,361
財源	国庫	89,790	59,989	59,989
	県費	32,419	32,420	32,420
	市債	0	0	0
	その他	70,025	70,027	70,027
	一般財源	67,127	96,925	96,925

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	訪問型サービス（高齢者いきいきプラン）	3,621 単位：件	目標値	4,080	4,698	5,436	-	-
			実績値	3,551	3,389			
活動指標	通所型サービス（高齢者いきいきプラン）	4,424 単位：件	目標値	4,896	5,634	6,528	-	-
			実績値	4,367	4,216			
活動指標	介護予防ケアマネジメント（高齢者いきいきプラン）	4,515 単位：件	目標値	5,170	5,950	6,850	-	-
			実績値	4,009	3,613			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	259,361 千円	令和4年度決算額	185,049 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 訪問型サービス 3,530件、通所型サービス 4,361件、 介護予防ケアマネジメント 4,251件 令和3年度 訪問型サービス 3,551件、通所型サービス 4,367件、 介護予防ケアマネジメント 4,009件 令和4年度 訪問型サービス 3,389件、通所型サービス 4,216件、 介護予防ケアマネジメント 3,613件		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	ひとり暮らし高齢者や高齢者のみの世帯の増加に伴い、介護予防・生活支援サービスが利用されている。
課題	自立を支援し、地域での生活を支えていくための多様なサービスの提供が求められる。介護予防ケアマネジメントの充実により、適切なサービスに繋げていく必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	高齢者いきいきプランに基づき、多様なサービスを含めた充実を図っていく。
令和6年度事業計画	訪問型サービス 通所型サービス 介護予防ケアマネジメント
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	64	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護特別会計	一般介護予防事業		12,492 千円	13,153 千円	7,357千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶7_地域で取り組む介護予防活動の促進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	65歳以上のすべての高齢者やその支援のための活動に関わる人を対象に、介護予防教室等を開催し、介護予防の普及啓発を図るとともに、住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、継続的に活動できる地域づくりを支援する。また、リハビリテーション専門職が、高齢者の有する能力を引き出すための助言や指導を行い、自立支援を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

介護予防普及啓発事業、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業のそれぞれにおいて、さらに事業のPRを行い、参加者の増加を図るとともに、今後も地域包括支援センターとの連携を図り、地域で取り組む介護予防活動を促進する。

また、これまで実施していたスポーツクラブ運動教室等委託については、形骸化してきており、自主活動に結びつかないことから、令和4年度の新規事業として、移動手段を持たない高齢者でも気軽に参加できるように送迎付きの介護予防教室を実施する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 送迎付介護予防教室【新】 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 フレイルサポーター養成 介護支援ボランティア		元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 送迎付介護予防教室 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 介護支援ボランティア	元気はつらつひろば 脳活ひろば 女性の尿もれ予防教室 シニアの元気アップ大学 送迎付介護予防教室 通いの場 ひとり暮らし高齢者会食サービス 介護予防サポーター養成 介護支援ボランティア
	事業費	13,153	13,153	13,153
財源	国庫	2,673	2,673	2,673
	県費	1,455	1,455	1,455
	市債	0	0	0
	その他	3,148	3,148	3,148
	一般財源	5,877	5,877	5,877

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 通いの場	32	目標値	41	46	50	-	-
	単位：件	実績値	45	41			
活動指標 介護予防教室（高齢者いきいきプラン）	300	目標値	250	260	270	-	-
	単位：回	実績値	141	158			
活動指標 地域リハビリテーション活動支援事業 （高齢者いきいきプラン）	73	目標値	70	75	80	-	-
	単位：回	実績値	18	21			
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	13,153千円	令和4年度決算額	7,357千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 介護予防普及啓発事業 90回、地域介護予防活動支援事業 7回 地域リハビリテーション活動支援事業 28回 令和3年度 介護予防普及啓発事業 149回、地域介護予防活動支援事業 12回 地域リハビリテーション活動支援事業 18回 令和4年度 介護予防普及啓発事業 158回、地域介護予防活動支援事業 23回 地域リハビリテーション活動支援事業 21回			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	今後さらに高齢者人口の増加が見込まれており、生きがいや役割を持って生活できるよう、身近な地域での住民主体の活動を支援している。					
課題	介護予防普及啓発事業では、老人福祉センターを会場とした介護予防教室、住民が主体に取り組む「通いの場」に対して、地域介護予防活動支援事業、地域リハビリテーション活動支援事業にて、介護予防体操等の指導を行っている。今後も活動を継続して実施できるよう支援が必要である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	高齢者いきいきプランに基づき、実施方法を検討しながら、「通いの場」参加者の定着を図る。					
令和6年度 事業計画	事業を継続する。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	65	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護特別会計	包括的支援事業			85,220 千円	85,218 千円	84,872千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_地域包括支援センターの機能充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者が住み慣れた地域で、活動的、かつ尊厳あるその人らしい生活を継続していけるよう、地域包括支援センターを「地域包括ケアシステム」を推進する中核機関として、日常生活圏域ごとに4か所設置し、保健・医療・福祉に関する相談、高齢者の権利擁護のために必要な支援、関係機関とのネットワーク構築等を行う。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

地域包括支援センターや保健・医療・福祉の関係機関と連携を図りながら、引き続き業務を推進する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託	高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託	高齢者あんしん相談センタークローバー荘委託	公募により4か所
	高齢者あんしん相談センター新橋委託	高齢者あんしん相談センター新橋委託	高齢者あんしん相談センター新橋委託	
	高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託	高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託	高齢者あんしん相談センター東毛光生園委託	
	高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託	高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託	高齢者あんしん相談センター社会福祉協議会委託	
	事業費	85,218	85,218	
財源	国庫	32,809	32,809	32,809
	県費	16,404	16,404	16,404
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	36,005	36,005	36,005

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	総合相談支援業務（高齢者いきいきプラン）	3,900 単位：件	目標値	4,100	4,250	4,400	-	-
			実績値	3,835	4,480			
活動指標	権利擁護業務（高齢者いきいきプラン）	74 単位：件	目標値	170	190	210	-	-
			実績値	73	119			
活動指標	包括的継続的ケアマネジメント支援業務（高齢者いきいきプラン）	207 単位：件	目標値	180	200	220	-	-
			実績値	167	198			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	85,218千円	令和4年度決算額	84,872千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 地域包括支援センター 4か所委託 総合相談支援業務 3,807件、権利擁護業務 88件、 包括的継続的ケアマネジメント支援業務 135件 令和3年度 地域包括支援センター 4か所委託 総合相談支援業務 3,835件、権利擁護業務 73件、 包括的継続的ケアマネジメント支援業務 167件 令和4年度 地域包括支援センター 4か所委託 総合相談支援業務 4,480件、権利擁護業務 119件、 包括的継続的ケアマネジメント支援業務 198件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者を取り巻く問題が複雑化、多様化している中、今後も、高齢者ができる限り住み慣れた地域で住み続けられるよう、4か所の地域包括支援センターを設置し、継続的な支援を行っている。
課題	少子高齢化の進展等に伴い、独居高齢者や高齢者2人世帯、高齢者とその子供との2人暮らし等の世帯が増え、また、地域とのつながりが希薄化し、地域とのつながりを拒否するケースもある。そのため、サービスにつながりにくく、サービスにつながるまでに時間を要したり、多職種の介入が必要な困難ケースも増加している。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	次期高齢者いきいきプラン策定に向けて、地域包括支援センターの運営方針及び相談支援体制について検討していく。
令和6年度事業計画	次期高齢者いきいきプランに基づき、事業を継続していく。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	66	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)
介護特別会計	任意事業			938 千円	2,831 千円
				決算額 (R4)	1,697千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	高齢者やその家族を支援するための事業や在宅で介護をしている家族に対し、適切な介護知識や技術の習得により、在宅生活の継続向上を図る家族介護支援事業、認知症の人や家族を見守る地域づくりを推進する認知症サポーター養成講座等を実施し、高齢者が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活を継続していけるよう支援する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

家族介護教室の開催、認知症サポーター養成講座・認知症サポーターステップアップ講座の開催、介護保険住宅改修理由書作成助成金交付事業、成年後見制度利用者補助を実施する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族介護教室の開催 ・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ 認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・ 介護保険住宅改修理由書作成助成金交付事業の普及啓発 ・ 成年後見制度利用者補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族介護教室の開催 ・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ 認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・ 介護保険住宅改修理由書作成助成金交付事業の普及啓発 ・ 成年後見制度利用者補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家族介護教室の開催 ・ 認知症サポーター養成講座の開催 ・ 認知症サポーターステップアップ講座の開催 ・ 介護保険住宅改修理由書作成助成金交付事業の普及啓発 ・ 成年後見制度利用者補助 	
	事業費	2,831	2,831	2,831	
	財源	国庫	1,090	1,090	1,090
		県費	545	545	545
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
一般財源		1,196	1,196	1,196	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 認知症サポーター養成講座修了者数 (累計) (高齢者いきいきプラン)	5,906 単位：人	目標値	6,200	6,500	6,800	-	-
		実績値	6,100	6,362			
活動指標 認知症サポーターステップアップ講座修了者数 (累計) (高齢者いきいきプラン)	37 単位：人	目標値	55	70	85	-	-
		実績値	58	71			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	2,831千円	令和4年度決算額	1,697千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 家族介護支援事業 1回、認知症サポーター養成講座 14回、 認知症サポーターステップアップ講座 1回 高齢者住宅改修等支援補助事業 廃止 介護保険住宅改修理由書作成助成 12件 令和3年度 家族介護支援事業 1回、認知症サポーター養成講座 10回、 認知症サポーターステップアップ講座 1回 オレンジサポーター養成 14人 介護保険住宅改修理由書作成助成 10件 令和4年度 家族介護支援事業 4回、認知症サポーター養成講座 12回、 認知症サポーターステップアップ講座 2回 オレンジサポーター養成 13人 介護保険住宅改修理由書作成助成 18件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢者が住み慣れた地域で住み続けられるよう、本人や家族を見守る地域づくりのための支援を行っている。
課題	認知症サポーターは毎年増えているが、一方で認知症サポーターからステップアップしたオレンジサポーターの活動場所が限られているため、オレンジサポーターを活かす場についても検討する必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	高齢者いきいきプランに基づき、事業を継続する。 認知症サポーターステップアップ講座実施により、オレンジサポーターを育成し、活用していく。
令和6年度事業計画	オレンジサポーターの活用によりチームオレンジの充実を図る。 令和4年度より、一般会計で実施されている成年後見制度利用支援事業を介護保険特別会計にて計上。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	67	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)
介護特別会計	在宅医療・介護連携推進事業			13,753 千円	13,755 千円
				決算額 (R4)	12,199千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、在宅医療と介護を一体的に提供するために医療や介護関係者等の連携を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

在宅医療介護連携相談センターたておに委託し、介護事業所に対するアンケート調査、ケアマネの集い・たておう研修会・市町民向け公開講座を実施する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	在宅医療・介護連携推進事業 （在宅医療介護連携相談センター たておに委託）		在宅医療・介護連携推進事業 （在宅医療介護連携相談センター たておに委託）	在宅医療・介護連携推進事業 （在宅医療介護連携相談センター たておに委託）	
	事業費	13,755	13,755	13,755	
	財源	国庫	2,069	2,069	2,069
		県費	1,035	1,035	1,035
		市債	0	0	0
その他		8,380	8,380	8,380	
一般財源		2,271	2,271	2,271	

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	相談件数（高齢者いきいきプラン）	346	目標値	373	433	497	-	-
		単位：件	実績値	517	483			
活動指標	相談センターたてお研修会（高齢者いきいきプラン）	5	目標値	9	10	11	-	-
		単位：回	実績値	8	9			
活動指標	市町民公開講座（高齢者いきいきプラン）	2	目標値	1	1	1	-	-
		単位：回	実績値	1	1			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	13,755千円	令和4年度決算額	12,199千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	平成29年4月より一市五町で館林市邑楽郡医師会に業務委託し、医師会内に「在宅医療介護連携相談センターたておう」が開設された。 ※一市五町での実績 令和2年度 相談件数 延334件 研修会開催 1回・ケアマネサロン開催 3回 市町民公開講座等 0回（新型コロナウイルス感染症拡大により中止） 令和3年度 相談件数 延517件 研修会開催 2回・ケアマネサロン開催 6回 市町民公開講座等 1回 令和4年度 相談件数 延483件 研修会開催 3回・合同学習会開催 6回 市町民公開講座等 1回			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	高齢者が住み慣れた地域で人生の最後まで住み続けることができるようにするためには、在宅医療・介護連携の取組が非常に重要である。多職種の連携を推進するための研修会や、住民への普及啓発のための公開講座は計画通りに実施できており、参加者の意見・感想についても満足度の高い評価となっている。			
課題	地域の限られた資源の中で、在宅医療・介護連携を推進するため幅広いテーマでの活動・多職種連携が必要である。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	高齢者いきいきプランに基づき、相談内容から見える課題の抽出や対応策の検討を通して、在宅医療・介護連携の取組を進めていく。			
令和6年度事業計画	在宅医療・介護連携推進事業 (在宅医療介護連携相談センターたておう委託)			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	68	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課 地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)
介護特別会計	生活支援体制整備事業			4,009 千円	3,902 千円
				決算額 (R4)	3,885千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06.高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶5.住民主体の生活支援が行われる地域づくりの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	医療や介護保険サービスの提供だけでなく、NPO法人、ボランティア、社会福祉法人、寿連合会、シルバー人材センター、民間企業等、生活支援を担う多様な主体と連携しながら、日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を図る。(協議体の設置及び生活支援コーディネーターの配置)
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

館林市社会福祉協議会に委託となって3年目となるため、地域資源の掘り起こしや生活支援サービスの創出等を積極的に推進していく。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)		生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)	生活支援体制整備事業 (館林市社会福祉協議会委託)
	事業費	3,902	3,902	3,902
財源	国庫	1,502	1,502	1,502
	県費	751	751	751
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,649	1,649	1,649

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	協議会開催回数（高齢者いきいきプラン）	66	目標値	40	40	47	-	-
		単位：回	実績値	49	57			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	3,902千円	令和4年度決算額	3,885千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	平成30年度 (市直営、協議体数:1層1か所・2層6か所、生活支援コーディネーター:1層市職員1人・2層会計年度任用職員3人) 地域包括ケアシステムに関する講演会や協議体同士の交流会を開催。第1層協議体で集約したニーズをもとに、生活支援サービスの創出について検討する定例会を毎月開催。第2層協議体を6地区設置し、定例会を毎月開催しており、2地区につき1名の第2層協議体生活支援コーディネーターを配置した。 令和元年度 (市直営、協議体数:1層1か所・2層6か所、生活支援コーディネーター:1層会計年度任用職員1人・層会計年度任用職員3人) 第1層協議体に生活支援コーディネーターを専属で配置し、主に移送支援についてテーマを絞って協議を進めた。その結果を提言書としてまとめ、市長や交通部局とのニーズ共有を図った。 令和2年度 (社協委託、協議体数:1層1か所・2層8か所、生活支援コーディネーター:1層社協職員1人・2層支部長8人) 社会福祉協議会へ事業委託開始。社協支部を2層協議体とし8か所で活動。 令和3年度 (社協委託、協議体数:1層1か所・2層8か所、生活支援コーディネーター:1層社協職員1人・2層支部長8人) 令和4年度 (社協委託、協議体数:1層1か所・2層8か所、生活支援コーディネーター:1層社協職員1人・2層支部長8人)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	各地域の状況に応じた協議体活動を推進し、住民のニーズに合った地域資源の掘り起こしや生活支援サービスの創出を行うために、検討を重ねている。					
課題	地域での担い手不足が課題となっており、若い担い手の発掘をし、住民主体の支え合いの仕組みづくりを推進していく必要がある。また、市と生活支援コーディネーターの連携を強め、地域の実情に応じた協議体活動を展開していく必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	事業を継続し、地域の課題をサービスの創生につなげていく。					
令和6年度事業計画	地域でのサービスの担い手の発掘を継続し、市と生活支援コーディネーターの連携強化を図る。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	69	重要事業	○	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
介護特別会計	認知症総合支援事業			5,847 千円	4,552 千円	5,227千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_認知症支援体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	認知症になっても本人の意向が尊重され、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるため、早期診断・早期対応に向けた支援を行うとともに、医療機関や介護サービス関係者等との連携を図り、認知症またはその疑いのある人やその家族に対する支援を行う。(認知症初期集中支援チームの設置、認知症地域支援推進員の配置、認知症カフェ等)
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ等の認知症関係事業や認知症の相談窓口の周知の徹底を行う。認知症カフェは、だれでも参加できるように、回数を増やす等、利便性を考慮し開催する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営 認知症多職種協働研修 チームオレンジ設置		認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営 認知症多職種協働研修 チームオレンジ設置	認知症地域支援推進員配置 認知症初期集中支援チーム委託 認知症カフェ運営 認知症多職種協働研修 チームオレンジ設置	
	事業費	4,552	4,552	4,552	
	財源	国庫	1,750	1,750	1,750
		県費	875	875	875
		市債	0	0	0
その他		6	6	6	
	一般財源	1,921	1,921	1,921	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 認知症初期集中支援推進事業 支援依頼件数	8	目標値	10	10	11	12	13
	単位：	実績値	1	2			
活動指標 認知症地域支援推進員の配置	1	目標値	2	3	4	4	5
	単位：人	実績値	5	5			
活動指標 認知症カフェの開催（高齢者いきいき プラン）	22	目標値	24	24	24	-	-
	単位：回	実績値	13	21			
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	4,552千円	令和4年度決算額	5,227千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 認知症初期集中支援チームの設置 3チーム ・つつじメンタルホスピタル ・公立館林厚生病院・地域包括支援センター 認知症地域支援推進員の配置 1名(市) 認知症カフェの開催 9回 令和3年度 認知症初期集中支援チームの設置 2チーム ・つつじメンタルホスピタル 認知症地域支援推進員の配置 5名(市1名、地域包括支援センター4か所に各1名) 認知症カフェの開催 13回 認知症関係講演会 新型コロナウイルスの感染拡大により開催できず 令和4年度 認知症初期集中支援チームの設置 2チーム ・つつじメンタルホスピタル 認知症地域支援推進員の配置 5名(市1名、地域包括支援センター4か所に各1名) 認知症カフェの開催 21回 認知症多職種協働研修 1回			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	高齢化の進展により、今後も、認知症高齢者の増加が見込まれており、市や各地域包括支援センターの認知症地域支援推進員を中心に、関係者と連携を図りながら、効果的な支援を行っている。			
課題	認知症高齢者の増加に伴い、認知症地域支援推進員への相談内容が多様化している。また、認知症初期集中支援対象者は困難ケースで、チーム支援終了後も長期に支援が必要な場合が多い。今後、依頼や対象ケースの支援を円滑に進めていくためにも関係機関との情報共有や連携が更に必要である。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	高齢者いきいきプランに基づき、認知症地域支援推進員を中心に、認知症普及啓発活動の充実を図る。			
令和6年度事業計画	認知症地域支援推進員を中心に、チームオレンジとして活動を展開していく。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	70	重要事業	総合戦略	担当部署	高齢者支援課	地域包括ケア推進係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護特別会計	地域ケア会議推進事業			57 千円	56 千円	13千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶06_高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちになる
施策の方向	▶4_地域包括ケア会議の活性化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	館林市地域包括ケア会議（以下「地域包括ケア会議」という。）を設置し、高齢者が、可能な限り住み慣れた地域でその有する能力に応じた日常生活を営むことができるよう、保健、医療、介護、福祉、住まい及び生活のための支援を包括的に推進する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

地域ケア推進会議については、地域の実情に応じた課題に取り組めるような仕組みを構築する。地域ケア個別会議については、「自立支援型個別ケア会議」の充実を図っていく。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議		地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議	地域ケア推進会議 個別ケース検討会議 自立支援型個別ケア会議 徘徊高齢者支援会議	
	事業費	56	56	56	
	財源	国庫	22	22	22
		県費	11	11	11
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	23	23	23	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 地域包括ケア会議開催回数（高齢者いきいきプラン）	19	目標値	15	17	19	-	-
	単位：回	実績値	14	9			
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	56千円	令和4年度決算額	13千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 全体会議 1回 個別ケア会議 9回 (自立支援型個別ケア会議・徘徊高齢者個別ケア会議を含む) 令和3年度 全体会議 1回(書面会議) 地域ケア個別会議 13回(個別ケース検討会議・自立支援型個別ケア会議・徘徊高齢者支援会議を含む) 令和4年度 全体会議 2回 地域ケア個別会議 7回(個別ケース検討会議・自立支援型個別ケア会議を含む)			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	高齢化、核家族化、認知症高齢者の増加等により、問題が複雑化しており、解決策に結びつくまでに時間がかかったり、多職種での関与が必要なケースが多くなっており、継続した支援を行っている。					
課題	地域ケア推進会議については、地域ケア個別会議より抽出された地域課題から必要な社会資源や地域づくりに向けて協議体との連携・協議を図り、また、地域課題に対応していくため、庁内や多機関との連携体制の整備が必要である。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	高齢者いきいきプランに基づき、事業を継続していく。 また、市内介護支援専門員による高齢者の自立支援に資するケアマネジメント実践力の向上が図れるよう、開催回数を増やしより多くのケアプランについて検討していく。					
令和6年度事業計画	事業を継続していく。					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	71	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・2	在宅福祉サービス事業			48,162 千円	49,662 千円	49,524千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_地域生活支援拠点などの整備
	▶4_精神障がいにも対応した地域包括ケアシステムの構築

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	在宅の障がい者（児）やその家族が、地域で安心して自立した生活が送れるよう各種福祉サービス事業を推進し、福祉の増進を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業
腎臓機能障がい者等が人工透析療法等による医療の給付を受けるため、医療機関への通院に要した交通費の一部を助成する。
- ②心身障がい者扶養共済制度
障がいのある方を育てている保護者が毎月掛金を納めることで、保護者が亡くなった時などに、障がいのある方に対し、一定額の年金を一生涯支給する制度。
- ③特別障がい者手当等給付事業
精神又は身体に重度の障がいを有するため、日常生活において常時の介護を必要とする状態にある在宅の者に手当を支給する。
- ④特別児童扶養手当事務事業
20歳未満で精神又は身体に障がいを有する児童を家庭で監護、養育している父母等に手当を支給する。
- ⑤地域生活支援拠点等事業【新規】
障がい者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居住支援のための機能（相談、緊急時の受け入れ・対応、体験の機会・場、専門性、地域の体制づくり）を、地域の实情に応じた創意工夫により整備し、障がい者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業スケジュール	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 ②心身障がい者扶養共済制度 ③特別障がい者手当等給付事業 ④特別児童扶養手当事務事業 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業 ⑧地域生活支援拠点等事業【新】	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 ②心身障がい者扶養共済制度 ③特別障がい者手当等給付事業 ④特別児童扶養手当事務事業 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業 ⑧地域生活支援拠点等事業	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 ②心身障がい者扶養共済制度 ③特別障がい者手当等給付事業 ④特別児童扶養手当事務事業 ⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 ⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 ⑦障がい者虐待防止対策支援事業 ⑧地域生活支援拠点等事業	
	事業費	49,662	49,662	49,662	
	財源	国庫	26,539	26,539	26,539
		県費	1,380	1,380	1,380
		市債	0	0	0
その他		11,054	11,054	11,054	
	一般財源	10,689	10,689	10,689	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 障がい福祉サービスの満足度	48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%	実績値	47.7	-	-	-	-
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	52,619千円	令和4年度決算額	49,524千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業 【支給対象者】 令和2年度 98人 令和3年度 101人 令和4年度 88人			
	②心身障がい者扶養共済制度 【加入者】 令和2年度 22人 令和3年度 17人 令和4年度 20人 【年金受給者】 令和2年度 32人 令和3年度 32人 令和4年度 32人			
	③特別障がい者手当等給付事業 【支給対象者】 令和2年度 133人 令和3年度 134人 令和4年度 134人			
	④特別児童扶養手当事務事業 【支給対象者】 令和2年度 140人 令和3年度 138人 令和4年度 145人			
	⑤障がい児親子すこやか教室開催事業 【参加者】 令和2年度 0人 令和3年度 0人 令和4年度 2人			
	⑥在宅精神障がい者福祉対策事業 【相談件数】 令和2年度 7件 令和3年度 2件 令和4年度3件			
	⑦障がい者虐待防止対策支援事業 【虐待保護件数】 令和2年度 0件 令和3年度 0件 令和4年度 0件			
	⑧地域生活支援拠点等事業 【緊急時短期入所事業所等受入】 令和4年度 1件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	在宅で生活する障がい者やその家族が、安心して安定した日常生活が送れるよう関係機関と連携し、また家族の介護等の負担軽減のための支援となるため。			
課題	サービスによっては利用者が少ないものもあり、在宅の障がい者やその家族が、地域で安心して自立した生活を送るために、広く市民に周知する必要がある。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	引き続き、在宅の障がい者（児）やその家族が、地域で安心して自立した生活が送れるよう福祉の増進を図る。			
令和6年度事業計画	障がい児親子すこやか教室、障がい者虐待防止対策支援事業、心身障がい者扶養共済制度、腎臓機能障がい者等通院交通費補助事業、認知症高齢者等福祉サービス利用支援事業補助、特別障がい者手当等給付事業、特別児童扶養手当事務事業、地域生活支援拠点等事業			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	72	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・2	施設対策事業		697 千円	902 千円	1,287千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	社会福祉施設整備に係る資金を融資機関から借り入れた民間事業者等に対し、その支払利子の一部を補助し、民間社会福祉事業の振興を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①民間社会福祉施設整備資金利子補助金
社会福祉法人、宗教法人、特定非営利活動法人に対し、社会福祉施設整備に係る資金を独立行政法人福祉医療機構、群馬県社会福祉協議会、日本政策金融公庫及び市中金融機関から借り入れたとき、その利子の一部を補助する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：5法人	①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：5法人	①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：5法人	①民間社会福祉施設整備資金利子補助金 利子補助利用：5法人	
	事業費	902	902	902	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	902	902	902	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	障がい福祉サービスの満足度	48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
		単位：%	実績値	47.7	-	-	-	-
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,287千円	令和4年度決算額	1,287千円	
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 利子補助利用 <li style="padding-left: 20px;">令和2年度：4法人 <li style="padding-left: 20px;">令和3年度：4法人 <li style="padding-left: 20px;">令和4年度：4法人 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与し ている事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られ ている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水 準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が 得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	民間社会福祉事業の振興を図り、社会福祉施設整備の促進のため。					
課題	広く周知する必要がある。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
令和6年度 事業計画	引き続き、社会福祉施設整備に係る資金を融資機関から借り入れた民間事業者等に対し、その支払利子の一部を補助し、民間社会福祉事業の振興を図る。					
令和6年度 事業計画	民間社会福祉施設整備資金利子補助利用 5法人					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	73	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・2	障がい認定調査事業			733 千円	860 千円	861千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分の認定調査を行う。
----------------	-------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①障がい認定調査事業

障がい支援区分認定調査時の旅費、医師意見書の作成手数料及び遠隔地調査の委託料

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①障がい認定調査事業 件数：約175件		①障がい認定調査事業 件数：約190件	①障がい認定調査事業 件数：約165件	
	事業費	860	860	860	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	860	860	860	

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	障がい認定調査件数	175	目標値	160	175	190	165	180
			実績値	168	182			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	891千円	令和4年度決算額	861千円	
<p>【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年</p>	<p>・障がい認定調査件数 令和2年度：190件 令和3年度：168件 令和4年度：182件</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障がい支援区分認定調査のため。					
課題	遠方の2施設（北海道札幌市、青森県青森市）においては、旅行が困難なため認定調査を委託している。しかし、その他の県外、県内においても、かなり遠い施設もあるため、職員の負担となっているのが課題である。					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引き続き、障害者総合支援法に規定する障がい支援区分の認定調査を行う。					
令和6年度 事業計画	障がい認定調査 約165件					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	74	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)
3・1・2	障がい者自立支援事業			1,364,688 千円	1,460,600 千円
				決算額 (R4)	1,903,877千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、地域社会の共生に向けて、障がいのある方が、日常生活及び社会生活を安心して営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの給付をするもの。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①介護給付費	居宅介護、短期入所、生活介護、施設入所支援、療養介護など介護系サービスを利用した際に介護給付費を支給する。
②訓練等給付費	機能の維持・向上や就労支援等のための訓練を受けた場合に訓練等給付費を支給する。
③障がい児給付費	障がい児通所支援給付費及び相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成費を支給する。
④補装具費	身体機能を補完し、又は代替し、かつ長期間にわたり継続して使用される義肢・装具・車いす等の購入費及び修理費を支給する。
⑤療養介護医療費	病院等の医療機関に長期間入院している障がい者で、医療と併せて常時介護を必要とする方に対しサービスを提供し、療養介護サービスの一環として提供される医療行為については、療養介護医療費として支給する。
⑥自立支援医療費（更生医療費・育成医療費）	心身の障がいを除去・軽減する手術等の治療によって確実に効果が期待できるものに対して提供される、更生・育成のために必要な自立支援医療費を支給する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①介護給付費 ②訓練等給付費 ③障がい児給付費 ④補装具費 ⑤療養介護医療費 ⑥自立支援医療費（更生医療費・育成医療費）				
	事業費	1,460,600	1,460,600	1,460,600	
	財源	国庫	728,878	728,878	728,878
		県費	364,959	364,959	364,959
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	366,763	366,763	366,763	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 障がい福祉サービスの満足度	48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%	実績値	47.7	-	-	-	-
	単位：	目標値					
	単位：	実績値					
	単位：	目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,983,411千円	令和4年度決算額	1,903,877千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・介護給付費 令和2年度：4,893件、令和3年度：4,871件、令和4年度：4,838件 ・訓練等給付費 令和2年度：2,984件、令和3年度：3,533件、令和4年度：3,699件 ・障がい児給付費 令和2年度：4,944件、令和3年度：4,952件、令和4年度：5,357件 ・補装具費 令和2年度： 99件、令和3年度： 103件、令和4年度： 114件 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	障害福祉サービスの給付のため。		
課題	障害福祉サービスの利用増による財源確保		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	引き続き、障がいのある方が、日常生活及び社会生活を安心して営むことができるよう、必要な障がい福祉サービスの給付を行う。		
令和6年度事業計画	介護給付費、障害福祉サービス利用給付金事業、訓練等給付費、障がい児給付費、サービス利用計画作成費、補装具費、難聴児補聴器費、療養介護医療費、更生医療費、育成医療費		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	75	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
3・1・2	地域生活支援事業			91,646 千円	91,490 千円	81,953千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_基幹相談支援センターの設置
	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障がい者（児）が、自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、地域の特性や利用者の状況に応じ、柔軟な形態により事業を効果的・効率的に実施し、福祉の増進を図るとともに、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
地域生活支援事業【重要事業】	
①相談支援事業 障がい者及びその介護を行う方からの相談に応じ、必要な情報の提供をしたり、権利擁護のために必要な援助を行う。	
②日中一時支援事業 障がい者を施設等で一時的に預かり、日中活動の場の提供や見守り、日常的な訓練等を行う。	
③地域活動支援センター事業 就労が困難な障がい者に対し、創作的活動や生産活動の機会、地域との交流の場を提供する。	
④日常生活用具給付費等事業 障がい者に対し、自立生活支援用具等の日常生活用具を給付する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	事業スケジュール	地域生活支援事業【重】 ①相談支援事業、②日中一時支援事業、③地域活動支援センター事業、④日常生活用具給付等事業、⑤移動支援事業、⑥福祉ホーム事業、⑦意思疎通支援事業、⑧入浴サービス事業、⑨身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業、⑩成年後見制度利用支援事業、⑪在宅血液透析患者支援事業	地域生活支援事業【重】 ①相談支援事業、②日中一時支援事業、③地域活動支援センター事業、④日常生活用具給付等事業、⑤移動支援事業、⑥福祉ホーム事業、⑦意思疎通支援事業、⑧入浴サービス事業、⑨身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業、⑩成年後見制度利用支援事業、⑪在宅血液透析患者支援事業	地域生活支援事業【重】 ①相談支援事業、②日中一時支援事業、③地域活動支援センター事業、④日常生活用具給付等事業、⑤移動支援事業、⑥福祉ホーム事業、⑦意思疎通支援事業、⑧入浴サービス事業、⑨身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助事業、⑩成年後見制度利用支援事業、⑪在宅血液透析患者支援事業	
	事業費	91,490	91,490	91,490	
	財源	国庫	21,275	21,275	21,275
		県費	13,244	13,244	13,244
		市債	0	0	0
その他		2,330	2,330	2,330	
	一般財源	54,641	54,641	54,641	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	相談支援専門員数	13	目標値	15	17	18	19	20
		単位：人	実績値	16	15			
総合計画指標	障がい福祉サービスの満足度	48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
		単位：%	実績値	47.7	-	-	-	-
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	91,653千円	令和4年度決算額	81,953千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援事業 令和2年度：5,232件、令和3年度：5,500件、令和4年度：6,484件 ・日中一時支援事業（登録・サービス） 令和2年度：41人、令和3年度：35人、令和4年度：33人 ・地域活動支援センター事業 令和2年度：43人、令和3年度：42人、令和4年度：39人 ・日常生活用具給付費 令和2年度：179人、令和3年度：211人、令和4年度：188人 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障がいの特性や、利用者の状況に応じた柔軟なサービスを効率的・効果的に行っており、障がいのある方の地域における生活を支えるのに必要であるため。					
課題	生命を維持するために必要なケアを始め、誰もが安心して豊かに生活するためのサポートまで、広く日常生活を支えるサービスの提供が求められている。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引き続き、障がいのある方が必要とするサービスを提供できるように事業の整備に取り組み、障がいの有無に関わらず市民が相互に人格と個性を尊重し、安心して暮らすことのできる地域社会の実現に寄与する。					
令和6年度事業計画	知的障がい者職親、相談支援事業、移動支援事業、福祉ホーム事業、日中一時支援事業、地域活動支援センター事業、生活支援サポート事業、点字広報・声の広報等発行事業、手話通訳者設置事業、手話通訳者・要約筆記者派遣事業、手話通訳者養成研修事業、入浴サービス事業、医療的ケア支援事業、市外サービス利用負担金、身体障がい者自動車運転免許取得費・自動車改造費補助、日常生活用具給付費、地域生活支援事業利用者負担助成金、成年後見制度利用支援事業、在宅血液透析患者支援事業					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	76	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)
3・1・2	重症心身障がい者等短期入所支援事業			716 千円	179 千円
				決算額 (R4)	0千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	在宅で重症心身障がい者等を介護する家族の、精神的・肉体的負担の軽減を図るため、館林厚生病院が実施する短期入所支援事業に対し、その経費の一部を補助する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①重症心身障がい者短期入所支援事業

- ・介護支援員等派遣事業委託料

利用者が普段利用し、慣れ親しんでいる居宅介護の介護士等を短期入所中に派遣し、在宅時に近い状況での介護を提供することで、利用時の不安を軽減し、かつ介護面でのサービスの質的向上を図る。

- ・短期入所報酬差額補助事業補助金

入院診療報酬と短期入所の介護給付費の報酬の差額（20,000～30,000円程度）を補助する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①重症心身障がい者短期入所支援事業 ・介護支援員等派遣事業委託料 ・短期入所報酬差額補助事業補助金		①重症心身障がい者短期入所支援事業 ・介護支援員等派遣事業委託料 ・短期入所報酬差額補助事業補助金	①重症心身障がい者短期入所支援事業 ・介護支援員等派遣事業委託料 ・短期入所報酬差額補助事業補助金	
	事業費	179	179	179	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	179	179	179	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	障がい福祉サービスの満足度	48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
		単位：%	実績値	47.7	-	-	-	-
		単位：	目標値					
			実績値					
		単位：	目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	13千円	令和4年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・利用者数 令和2年度：なし、令和3年度：なし、令和4年度：なし			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	これまで他県や地域外の施設を利用してきた家族等の強い要望もあり、邑楽館林地域で暮らす重症心身障がい者等を介護する家族等が安心して地域で生活をする上で、地域内に緊急時やレスパイト（介護者の休息、息抜き）を目的とした短期入所事業をおこなえる施設が必要不可欠であるため。					
課題	本事業は平成24年5月に1市5町の首長の連名により館林厚生病院へ提出された要望書を受けて、平成27年度より事業を開始し、これまで3名の方が延べ7回利用している。利用対象者は館林市9名、5町8名の合わせて17名（R5.4月現在）であるが、利用率は伸びていない状況にある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	引き続き、在宅で重症心身障がい者等を介護する家族の精神的・肉体的負担の軽減を図るため、館林厚生病院が実施する短期入所支援事業に対し、その経費の一部を補助するとともに、利用しやすい環境づくりに努める。					
令和6年度事業計画	・介護支援員等派遣事業委託 2人 ・短期入所報酬額補助事業補助 2人					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	77	重要事業	○	総合戦略		担当部署	社会福祉課	障がい福祉係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
3・1・2	発達障がい者支援事業			9,497 千円	8,390 千円	6,259千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_児童発達支援センターの設置

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	発達障がい者が地域で安心して生活していくことができるように、発達障がい者の乳幼児期からの各ライフステージに応じ、一貫した支援体制を整備し、社会全体で発達障がい者を支える仕組みを充実させる。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

発達障がい者支援事業【重要事業】	
①人材育成支援事業	早期療育等の指導者、保健師、保育士、教諭など当事者とかかわる人材を育成するため、研修・講演会を開催するとともに、各ライフステージにおける一貫した技術支援が行える指導者を養成する。
②地域啓発事業	発達障がいについて、市民や企業等の地域住民が理解を深めるための講演会を開催するとともに、世界自閉症啓発デー・発達障害啓発週間でイベントを行う。
③早期発達支援事業	効果の検証された科学的根拠に基づく療育を行うことができるNPO法人に業務委託し、自閉スペクトラム症の対応に不安を抱える親子への個別支援を実施する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	発達障がい者支援事業【重】	発達障がい者支援事業【重】	発達障がい者支援事業【重】	発達障がい者支援事業【重】
	①人材育成支援事業	①人材育成支援事業	①人材育成支援事業	①人材育成支援事業
	②地域啓発事業	②地域啓発事業	②地域啓発事業	②地域啓発事業
	③早期発達支援事業	③早期発達支援事業	③早期発達支援事業	③早期発達支援事業
事業費		8,390	8,390	8,390
財源	国庫	1,549	1,549	1,549
	県費	774	774	774
	市債	0	0	0
	その他	6	6	6
	一般財源	6,061	6,061	6,061

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%		実績値	47.7	-	-	-	-
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,038 千円	令和4年度決算額	6,259 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成支援研修会 令和2年度：1回20人参加、令和3年度：5回105人参加、令和4年度：4回130人 ・早期発達支援事業 令和2年度：37児童 266回、令和3年度：56児童 242回、令和4年度：52児童 245回 ・市民講演会 令和2年度：コロナのため中止、令和3年度：コロナのため中止 令和4年度：160人参加 ・自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間 令和2年度：コロナのため中止、令和3年度：240人参加、令和4年度：300人参加 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	発達障がい者支援に対するニーズは増しており、館林市の診断数も年々増えてきている現状を受け、発達障がい者を社会全体で支える仕組みを充実させるため。		
課題	乳幼児発達相談で診断告知を受ける児童が多く、また、本来の医療機関での診断もあり、毎年約50名にのぼる。それにより、相談者が増加し、相談支援専門員不足が課題である。さらに、障がい児給付費（扶助費）増による財源不足と課題が多い。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）		
	継続して発達障がい者が地域で安心して生活していくことができるように、各ライフステージに応じ、一貫した支援を行っていく。 また、ライフステージに応じた支援がスムーズに行えるように、社会資源の洗い出しや連携の仕方、支援体制の整備をしていく。 さらに、啓発活動などを通じて、発達障がいへの理解を促し、地域全体で支えていく意識を高めていく。		
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・人材育成支援研修会 3回 ・市民講演会（地域啓発等研修会） 1回 ・自閉症啓発デー・発達障がい啓発週間イベント 		
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考			

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	78	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・2	障がい者施設感染症対策支援事業			0千円	324千円	0千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害児者の家族が新型コロナウイルスに感染して入院し、家庭で支援する親族がいなくなった場合に、施設へ入所するまでの間、居宅介護事業者が訪問による支援を行う事業への補助。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

訪問による支援を行う支援者の宿泊施設への自主的避難に対する補助及び支援者が通常業務に戻るまで待機した場合に発生する人件費を補助する。
 ①自主的避難補助
 ②人件費補助

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①自主的避難補助 ②人件費補助		①自主的避難補助 ②人件費補助	①自主的避難補助 ②人件費補助	
	事業費	324	324	324	
	財源	国庫	324	324	324
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	0	0	0	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%		実績値	47.7	-	-	-	-
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	324千円	令和4年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和3年度（6月補正）より事業実施 ・令和3年度実績：0件 ・令和4年度実績：0件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	新型コロナウイルスにより障害児者を支援する親族がいなくなった場合に、施設へ入所するまでの間の支援を行うため。					
課題	補助を必要とする方が活用できるよう、制度を広く周知する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	令和4年度は実績なしだが、新型コロナウイルスの動向を見つつ、新型コロナウイルス感染による緊急時の対応として当面は継続していく。					
令和6年度事業計画	・自主的避難補助 ・人件費補助					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input checked="" type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	79	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・3	街づくり計画推進事業			4,937 千円	853 千円	335千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障がい者の住みよい街づくりと社会参加を推進するための事業
----------------	------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
<p>①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催 館林市附属機関設置条例に基づく附属機関として毎年会議を開催する。 ・第四次館林市障がい者計画の進捗評価</p> <p>②手話施策推進会議の開催 館林市きずなを結び共に育む手話言語条例に基づく附属機関として毎年会議を開催する。 ・手話施策推進方針の施策の推進状況の検証</p> <p>③手話によるつつじガイドの実施 手話施策推進方針に基づき、つつじまつりの際に手話ガイドを行う。</p> <p>④小中学校手話教室の推進 手話施策推進方針に基づき、小中学校での手話教室の全校実施を目標とする。</p>	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催	①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催	①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催	①障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催
	②手話施策推進会議の開催	②手話施策推進会議の開催	②手話施策推進会議の開催	②手話施策推進会議の開催
	③手話によるつつじガイドの実施	③手話によるつつじガイドの実施	③手話によるつつじガイドの実施	③手話によるつつじガイドの実施
	④小中学校手話教室の推進	④小中学校手話教室の推進	④小中学校手話教室の推進	④小中学校手話教室の推進
	⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施	⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施	⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施	⑤館林邑楽地区福祉パレードの実施
事業費		853	853	853
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	853	853	853

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標 推進協議会及び推進会議の開催回数	2	目標値	2	2	2	2	2
	単位：回	実績値	3	2			
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	853 千円	令和4年度決算額	335 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の住みよい街づくり推進協議会 令和2年度：1回開催（書面開催） 令和3年度：2回開催 令和4年度：1回開催（書面開催） ・ 手話施策推進会議 令和2年度：2回開催（2回目は書面開催） 令和3年度：1回開催（書面開催） 令和4年度：1回開催（書面開催） 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	障がい者計画等への評価・助言をいただき、障がい者の生活環境を改善することにより、障がい者の住みよい街づくりを推進するため。 また、活動指標「推進協議会及び推進会議の開催回数」について、年度目標値を達成しているため。			
課題	コロナ禍により、会議について対面開催ができず、書面開催にとどまっている。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	引き続き、障がい者の住みよい街づくりと社会参加を推進していく。			
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障がい者の住みよい街づくり推進協議会の開催 ・ 手話施策推進会議の開催 ・ 手話によるつつじガイドの実施 ・ 小中学校手話教室の推進 			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	80	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・3	福祉サービス事業		8,341 千円	7,598 千円	7,060千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域で生活する障がい者や介護者に対する各種見舞金等の支給や、社会生活を営むうえで必要な知識や動作を習得するための各種講座等の開催により、自立更生を支援する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①特定疾患患者等見舞金支給事業	原因不明で治療法も確立されていない特定疾患々々と、小児慢性疾患々々に対し見舞金を支給する。
②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業	日常生活に著しい制限を受け厳しい生活を強いられている人工肛門、人工膀胱受術者及び腎臓機能障がい（透析患者）に対し、奨励金を支給する。
③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業	日常生活に著しく支障のある、在宅の重度知的障害者を介護するものに支給する。
④身体障がい者教養講座の開催	視覚・聴覚障がい者が社会生活を営むうえで必要な知識や動作を取得するため、各種講座を開催する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		①特定疾患患者等見舞金支給事業 ②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 ③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 ④身体障がい者教養講座の開催 ⑤日常生活用自助具等購入費補助 ⑥心臓病児手術見舞金 ⑦口蓋裂児歯列矯正手術見舞金 ⑧障がい者歯科医療センター運営費補助	①特定疾患患者等見舞金支給事業 ②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 ③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 ④身体障がい者教養講座の開催 ⑤日常生活用自助具等購入費補助 ⑥心臓病児手術見舞金 ⑦口蓋裂児歯列矯正手術見舞金 ⑧障がい者歯科医療センター運営費補助	①特定疾患患者等見舞金支給事業 ②膀胱・直腸・透析患者自立更生奨励金支給事業 ③在宅重度障がい者介護慰労金支給事業 ④身体障がい者教養講座の開催 ⑤日常生活用自助具等購入費補助 ⑥心臓病児手術見舞金 ⑦口蓋裂児歯列矯正手術見舞金 ⑧障がい者歯科医療センター運営費補助
	事業費	7,598	7,598	7,598
財源	国庫	32	32	32
	県費	16	16	16
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,550	7,550	7,550

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%		実績値	47.7	-	-	-	-
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,598千円	令和4年度決算額	7,060千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定疾患患者等見舞金 令和2年度：15人、令和3年度：30人、令和4年度：33人 ・ 自立更生奨励金 令和2年度：69人、令和3年度：60人 令和4年度：51人 ・ 在宅重度障がい者介護慰労金 令和2年度：15人、令和3年度：12人、令和4年度：13人 ・ 身体障がい者教養講座 令和2年度：延 59人参加、令和3年度：延 106人参加、令和4年度：延 118人参加 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	障がい者及びその介護者が、継続して地域で生活する支援となるため。					
課題	制度の対象者に漏れがないように、対象者の確認を徹底するとともに、広く制度を周知する必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	引き続き、地域で生活する障がい者や介護者に対して、見舞金等の支給や各種講座等を開催することにより、自立更生を支援する。					
令和6年度事業計画	身体障がい者教養講座、日常生活用自助具等購入費補助、保険適用外はり・きゅう・マッサージ施術料補助、障がい者歯科医療センター運営費補助、心臓病児手術見舞金、口蓋裂児歯列矯正手術見舞金、特定疾患患者等見舞金、自立更生奨励金、在宅重度障がい者介護慰労金					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	81	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・3	生活環境整備事業		1,500 千円	1,000 千円	0千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	上肢・下肢・体幹又は視覚に、重度の障がいを有する者及び児童等が、住宅設備を障がい者に適するように改造する場合、その事業に要する経費の一部を補助する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金
玄関・台所・浴室・トイレなどの改造費用の一部を補助する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金	①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金	①重度身体障がい者（児）住宅改造費補助金	
	事業費	1,000	1,000	1,000	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	600	600	600
		市債	0	0	0
その他		0	0	0	
	一般財源	400	400	400	

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 障がい福祉サービスの満足度	48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%	実績値	47.7	-	-	-	-
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,000千円	令和4年度決算額	0千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・住宅改造費補助件数 令和2年度：0件、令和3年度：1件、令和4年度：0件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	重度障がい者及び障がい児の数は増減するものの一定数おり、本事業を継続することにより、障がい者（児）の生活環境の充実を図る必要があるため。					
課題	平成20年度より実施しているが、令和4年度までの累計は13件となっている。身体障がい者手帳交付時等に事業の説明を行っているが、他制度に類似の事業があることや手続きの手間等で受益者は少ない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	引き続き、上肢・下肢・体幹又は視覚に、重度の障がいを有する者及び児童等が、住宅設備を障がい者に適するように改造する場合、その事業に要する経費の一部を補助する。					
令和6年度事業計画	住宅改造費補助					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	82	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・7	障がい支援区分認定審査会運営			7,593 千円	7,598 千円	7,173千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶6_障害者総合支援法に基づいた支援の継続

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分認定審査会の運営
----------------	------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①障がい支援区分認定審査会の開催（年4回予定）
認定調査員（市職員）が訪問し、心身の状態や日常生活の様子などについて調査し、その調査結果に加え主治医の意見も総合して、認定審査会にて区分の判定を行う。審査会委員は24名、月に4回週1で開催予定。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①障がい支援区分認定審査会の開催	①障がい支援区分認定審査会の開催	①障がい支援区分認定審査会の開催	①障がい支援区分認定審査会の開催	
	事業費	7,598	7,598	7,598	
	財源	国庫	0	0	0
		県費	0	0	0
		市債	0	0	0
その他		1,291	1,291	1,291	
	一般財源	6,307	6,307	6,307	

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	認定審査会の開催回数	29	目標値	29	29	29	30	30
			実績値	29	28			
			目標値					
			実績値					
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,600千円	令和4年度決算額	7,173千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・障がい支援区分認定審査会開催回数 令和2年度：25回、令和3年度：29回、令和4年度：28回 ・障がい支援区分認定審査判定件数 令和2年度：350件（うち館林市分172件） 令和3年度：335件（うち館林市分129件） 令和4年度：402件（うち館林市分182件）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分認定審査会の運営のため。			
課題	5町より提出される書類の修正が多いなど、取りまとめに苦慮している。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	障害者総合支援法に規定する障がい支援区分認定審査会の運営を継続する			
令和6年度事業計画	障がい支援区分認定審査会の開催（年48回予定）			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	83	重要事業	総合戦略	担当部署	社会福祉課 障がい福祉係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・8	障がい者総合支援センター運営			81,614 千円	81,713 千円	81,652千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶07_障がいのある方誰もが安心して自分らしく暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_障がい者総合支援センターの役割の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	総合的な障がい者福祉施設（在宅重度心身障がい者等デイサービス事業、地域活動支援センター事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障がいに関する相談支援事業）を運営することにより、地域で暮らす障がいのある方の社会参加の促進や生活支援のサポートの拠点とするとともに、災害発生時の避難体制の確立や、豊かな自然環境の下でのよりよい療育の場の提供なども行う。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①在宅重度心身障がい者等デイサービス事業	在宅で生活する重度の障がい者に、日常生活訓練、機能回復訓練、創作、軽作業並びに食事介助等を行う。
②地域活動支援センター事業	就労が困難な障がい者に対し、創作的活動や生産活動の機会、地域との交流の場を提供する。
③児童発達支援事業	療育の観点から集団療育及び個別療育を行う必要があると認められる未就学の児童に日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練、その他必要な支援を行う。
④放課後等デイサービス事業	学校に就学し、授業の終了後又は休業日に支援が必要と認められた障がい児に生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行う。
⑤障がいに関する相談支援事業	障がい者及びその介護を行うかたからの相談に応じ、必要な情報の提供を行う。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 ②地域活動支援センター事業 ③児童発達支援事業 ④放課後等デイサービス事業 ⑤障がいに関する相談支援事業				
	事業費	81,713	81,713	81,713	
	財源	国庫	5,498	5,498	5,498
		県費	6,129	6,129	6,129
		市債	0	0	0
その他		1,500	1,500	1,500	
	一般財源	68,586	68,586	68,586	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
障がい福祉サービスの満足度		48.2	目標値	51.8	-	-	-	-
	単位：%		実績値	47.7	-	-	-	-
	単位：		目標値					
			実績値					
	単位：		目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	81,713千円	令和4年度決算額	81,652千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 令和2年度：延 551人利用、令和3年度：延 566人、令和4年度：延 555人 ・地域活動支援センター事業 令和2年度：延 3,135人利用、令和3年度：延 2,965人、令和4年度：延 2,722人 ・児童発達支援事業 令和2年度：延 1,947人利用、令和3年度：延 1,779人、令和4年度：延 1,756人 ・放課後等デイサービス事業 令和2年度：延 1,605人利用、令和3年度：延 1,636人、令和4年度：延 1,416人 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域で暮らす障がいのある方の社会参加の促進や生活支援のサポートの拠点として必要であるため、また、指定管理について、施設の設置目的を十分に理解した管理運営が行われている。職員の配置基準を超える人員配置や医療的ケアにも対応できる看護師等の配置のほか、挨拶と笑顔を接遇理念とする活力あふれる職員のひたむきな姿勢は、利用者や保護者との信頼関係の構築へ繋がっており非常に評価できるため。		
課題	相談支援事業については、表に現れていない利用者ニーズを先読みし、さらなるサービス向上に努めていく必要がある。また、地域に開かれた施設として、地域への情報発信や地域交流ができるよう自主事業に取り組む必要がある。		
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)		
	引き続き、総合的な障がい者福祉施設（在宅重度心身障がい者等デイサービス事業、地域活動支援センター事業、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業、障がいに関する相談支援事業）を運営することにより、地域で暮らす障がいのある方の社会参加の促進や生活支援のサポートの拠点とする。さらに、災害発生時の避難体制の確立や、豊かな自然環境の下でのよりよい療育の場の提供なども行う。		
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅重度心身障がい者等デイサービス事業 ・地域活動支援センター事業 ・児童発達支援事業 ・放課後等デイサービス事業 ・障がいに関する相談支援事業 		
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較		
備考	第3期指定管理業務（R5年度からR9年度）：基幹相談支援センター設置を見据えて相談支援事業を強化していく。		

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	84	重要事業	総合戦略	担当部署	介護保険課	介護保険係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護保険特別会計	保険給付費			6,289,000千円	6,521,105千円	5,813,771千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶4_介護予防と給付適正化の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	40歳以上65歳未満の医療保険加入者及び65歳以上の高齢者が、加齢に伴う疾病等で要支援又は要介護と認定された場合、その能力に応じて自立した日常生活を営むことができるよう、必要な介護サービスの給付を行う。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①居宅サービス	自宅を中心に利用するサービスで、訪問介護や訪問看護等の「訪問系サービス」、通所介護（デイサービス）や通所リハビリ（デイケア）等の「通所系サービス」のほか、短期入所や福祉用具、住宅改修等のサービスがある。
②地域密着型サービス	市内に住んでいる方のみが利用できるサービスで、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護等のサービスがある。
③介護保険施設サービス	介護保険施設に入所して受けるサービスで、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設等がある。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	事業費	6,521,105	6,658,067	6,791,228
	財源			
	国庫	1,372,871	1,433,841	1,491,194
	県費	940,782	955,706	974,820
	市債			
	その他	1,760,685	1,797,666	1,833,619
	一般財源	2,446,767	2,470,854	2,491,595

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	6,521,105 千円	令和4年度決算額	5,813,771 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	保険給付実績 ■ 居宅サービス利用数 令和2年度 78,550件 令和3年度 80,698件 令和4年度 80,573件 ■ 地域密着型サービス利用数 令和2年度 5,606件 令和3年度 5,994件 令和4年度 5,801件 ■ 介護保険施設サービス利用数 令和2年度 7,343件 令和3年度 7,538件 令和4年度 7,659件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	3事業とも介護保険制度に不可欠なサービスで、概ね過去と同様の事業実績で同水準のサービスが提供できたと評価したため。			
課題	介護給付を必要としている被保険者が、適正な介護サービスを事業者から受給できるように、保険者として給付適正化事業（ケアプラン点検、縦覧点検等）を効果的に実施する必要がある。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	介護保険財政の健全性を確保しながら、介護保険事業の推進体制の整備充実を図る。			
令和6年度事業計画	①居宅サービス………自宅を中心に利用するサービスで、訪問介護や訪問看護等の「訪問系サービス」、通所介護（デイサービス）や通所リハビリ（デイケア）等の「通所系サービス」のほか、短期入所や福祉用具、住宅改修等のサービスがある。 ②地域密着型サービス………市内に住んでいる方が利用できるサービスで、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）、小規模多機能型居宅介護、地域密着型通所介護、地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護等のサービスがある。 ③介護保険施設サービス………介護保険施設に入所して受けるサービスで、介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護医療院がある。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	85	重要事業	総合戦略	担当部署	介護保険課 調査認定係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護保険特別会計	介護認定審査会費		23,199千円	22,215千円	20,396千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶4_介護予防と給付適正化の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	介護認定審査会を共同で設置し、館林市・邑楽郡内の審査判定の公平性、効率化を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
介護認定審査会………館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町の一市五町で共同設置により運営する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	介護認定審査会の実施			
	事業費	22,215	22,215	22,215
	財源			
	国庫			
	県費			
	市債			
	その他	11,594	11,594	11,594
	一般財源	10,621	10,621	10,621

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	22,215 千円	令和4年度決算額	20,396 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■判定件数 令和2年度：4, 717件 令和3年度：6, 123件 令和4年度：6, 248件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	・認定審査会の運営主体は、介護保険法等の規定により市町村、または複数の市町村が共同で実施しなければならず、不可欠な事業である。 ・5町と共同設置しており、連携し計画的な審査会運営が図られている。			
課題	・介護認定審査会は、保健、医療、福祉に関する学識経験者48名、8合議体の構成となっているが、引き続き継続して行っていくためには審査会委員を確保していく必要がある。 ・コロナ禍や市外から出席の委員（特に医師）の移動時間削減を考え、書面のほかにリモートでの開催を検討していく必要がある。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	公平公正な要介護認定を行うため、介護認定審査会は継続して行っていく必要があり、引き続き5町と連携を図りながら計画的な審査会運営を行っていく。			
令和6年度事業計画	介護認定審査会……館林市、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町の一市五町で共同設置により運営。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	86	重要事業	総合戦略	担当部署	介護保険課 調査認定係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
介護保険特別会計	調査認定等費		30,810千円	33,700千円	27,717千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶4_介護予防と給付適正化の推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	要介護認定・要支援認定申請者に対する要介護認定調査を実施し、申請者の主治医に対し、疾病の状況などに係わる意見書を求め、認定審査会に審査判定を依頼し認定する。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
要介護認定調査	申請者の状況を確認するため、認定調査を実施する。
要介護認定事務	申請者の状況（訪問調査結果・主治医意見書）をもとに認定審査会において審査判定を行い、要介護認定をする。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	要介護認定調査の実施		要介護認定調査の実施	要介護認定調査の実施
	要介護認定の実施		要介護認定の実施	要介護認定の実施
事業費		33,700	33,700	33,700
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他	18	18	18
	一般財源	33,682	33,682	33,682

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	33,700 千円	令和4年度決算額	27,717 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■申請件数（新規・変更・更新） 令和2年度：2, 258件 令和3年度：3, 297件 令和4年度：3, 302件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	・介護認定調査及び介護認定事務は、介護サービスを利用するために不可欠な事業である。 ・新規申請の認定調査は市町村職員が行うこととなっているが、更新申請については居宅介護支援事業所の介護支援専門員への委託ができるため、可能な範囲で認定調査を行ってもらうことができた。 ・認定調査員6名のうち3名を会計年度任用職員とすることで人件費削減ができています。			
課題	後期高齢者の人口増加に伴い、要介護認定者の増加も見込まれることから、更新申請の認定調査の委託件数も増やしていきたいが、事業所が本来業務で多忙を極めており委託件数を増やすことは難しい状況である。調査員も高齢化が進んでおり、新たな調査員の採用・育成も必要になってきている。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	後期高齢者の増加に伴い、申請・調査件数は増加している。主治医意見書や認定調査等の認定業務は、業務の効率化を行いながら継続して行っていく必要がある。			
令和6年度事業計画	要介護認定調査……申請者の状況を確認するため、認定調査を実施。 要介護認定事務……申請者の状況（訪問調査結果・主治医意見書）をもとに認定審査会において審査判定を行い、要介護認定を実施。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	87	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課	給付年金係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・4	福祉医療費助成事業			524,705 千円	498,754 千円	473,820千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶2_医療費助成

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	子ども、重度心身障がい者並びに母子家庭及び父子家庭の親と子に対し、保険診療の自己負担分を助成することで健康管理と福祉の増進を図ることを目的にしている。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○福祉医療費助成事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内医療機関受診分の現物給付 ・ 県外医療機関受診分の償還払い ・ 療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・ 高校生世代の入院医療費助成 ・ 高額療養費の精算事務（国保、後期高齢者医療） ・ スポーツ振興センター災害給付金との調整事務 ・ 福祉医療費助成対象者の資格認定及び更新勧奨 ・ 受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、重度心身障がい者） ・ 福祉医療費補助金事務
------------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	○福祉医療費助成事業 ・ 県内医療機関受診分の現物給付 ・ 県外医療機関受診分の償還払い ・ 療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・ 高校生世代の入院医療費助成 ・ 福祉医療費補助金事務 ・ 受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、高齢重度障がい者） ・ システム改修ほか	○福祉医療費助成事業 ・ 県内医療機関受診分の現物給付 ・ 県外医療機関受診分の償還払い ・ 療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・ 高校生世代の入院医療費助成 ・ 福祉医療費補助金事務 ・ 受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、(高齢)重度心身障がい者） ほか	○福祉医療費助成事業 ・ 県内医療機関受診分の現物給付 ・ 県外医療機関受診分の償還払い ・ 療養費（柔整・補装具・マッサージ等）の支給 ・ 高校生世代の入院医療費助成 ・ 福祉医療費補助金事務 ・ 受給資格者証の更新事務（母子・父子家庭等、(高齢)重度心身障がい者） ほか
事業費	498,754	498,754	498,754
財源	国庫		
	県費	225,452	225,452
	市債		
	その他	10,200	10,200
	一般財源	263,102	263,102

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	福祉医療費給付件数	目標値	179,468	176,374	173,280	170,186	167,091
		単位：件	実績値	158,211	161,904		
		目標値					
		単位：	実績値				
		目標値					
		単位：	実績値				
		目標値					
		単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	499,579千円	令和4年度決算額	473,820千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	【福祉医療費助成状況(扶助費支出額)】			
		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	子ども	171,927,908円	187,347,538円	194,893,336円
	重度心身障がい	132,474,012円	137,124,367円	131,786,509円
	高齢重度障がい	70,583,926円	74,381,679円	72,656,875円
	母子家庭等	49,262,159円	51,923,812円	50,570,965円
	父子家庭	3,584,318円	4,888,604円	4,185,116円
	小児慢性特定疾病	264,210円	248,400円	168,850円
計	428,096,533円	455,914,400円	454,261,651円	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	医療費助成事業を行うことで、受給者の経済的負担を軽減し、安心して必要な医療を受けることができている。 なお、高校生世代の入院費助成に加え、令和5年4月1日から通院費も助成して高校生世代の医療費を拡充するため、令和4年度に更新作業を行った。
課題	少子化による受給者の減少と、平成31年4月から重度心身障がい者の入院時食事療養費の見直しにより助成額が減額となった。 また、令和5年8月には公平性の確保や制度の持続可能性を踏まえ、重度心身障がい・高齢重度について所得制限が導入されることになり、新たな更新作業が増えることになった。 真に医療費助成を必要としている人・世帯への必要な支援が行き届く制度として、福祉の向上に貢献する制度であるが、医療費の過大により見直しが行われるようになった。
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	令和5年4月から下記の通り。 ・4月1日から、高校生世代の医療費拡充として通院費助成を開始する。 ・毎年8月に、高齢重度及び重度心身障がい者の所得を見直すこととなり、更新作業が更に増えた。
令和6年度事業計画	引き続き助成事業を行う。
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	88	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課	給付年金係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・1・5	国民年金事業			9,109 千円	8,929 千円	8,273千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶3_適用.給付.相談体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	法定受託事務（資格届出書等の受理・裁定請求書の受理・保険料免除申請の受理及び付加保険料の納付脱退申出の受理等）及び協力・連携事務（保険料納付勧奨及び制度周知等の広報紙掲載及び年金に関する来訪・電話相談等）の実施。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○国民年金事業	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法定受託事務（年金の資格異動や免除申請書等に関する届出の受理） <ul style="list-style-type: none"> 資格異動に関する届出の受理 学生納付特例、免除、納付猶予申請の受理 裁定請求申請（障害年金受給申請を含む）の受理 死亡に伴う未支給年金等の請求申請の受理 受理した書類を日本年金機構に送付する 年金生活者支援給付金の支給に係る法定受託事務 ・ 協力・連携事務（制度周知に関する広報や窓口・電話相談） <ul style="list-style-type: none"> 年金制度や手続きについて広報やホームページに掲載する 年金制度に関する窓口・電話相談 年金生活者支援給付金の支給に係る協力・連携事務 ・ 国民年金事務費交付金事務
---------	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	○国民年金事業	8,929	8,929	8,929
	・ 法定受託事務			
	・ 協力・連携事務			
	・ 国民年金事務費交付金事務			
	○国民年金事業			
・ 法定受託事務				
・ 協力・連携事務				
・ 国民年金事務費交付金事務				
事業費		8,929	8,929	8,929
財源	国庫	8,929	8,929	8,929
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	日本年金機構への関係書類進達件数	4,678	目標値	4,600	4,561	4,522	4,483	4,444
		単位：件	実績値	3,194	3,092			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	8,688千円	令和4年度決算額	8,273千円													
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・被保険者の状況 令和元年度 13,251人 令和2年度 13,235人 令和3年度 12,988人 ・受給状況 <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">受給者数</td> <td style="text-align: center;">総支給額</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td style="text-align: center;">21,341人</td> <td style="text-align: center;">14,193,781千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td style="text-align: center;">21,454人</td> <td style="text-align: center;">14,360,321千円</td> </tr> <tr> <td>令和3年度</td> <td style="text-align: center;">21,595人</td> <td style="text-align: center;">14,516,809千円</td> </tr> </table> ・年金機構への関係書類進達状況 令和元年度 3,023件 令和2年度 3,233件 令和3年度 3,194件 * 受給状況は毎年7月に連絡がくるためR3が最新になる。					受給者数	総支給額	令和元年度	21,341人	14,193,781千円	令和2年度	21,454人	14,360,321千円	令和3年度	21,595人	14,516,809千円
	受給者数	総支給額														
令和元年度	21,341人	14,193,781千円														
令和2年度	21,454人	14,360,321千円														
令和3年度	21,595人	14,516,809千円														

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国民年金事業法定受託事務として実施
課題	・年金相談の内容は多岐にわたり、特に障害年金の相談はケースにより異なるため、年金事務所に確認しながらでないとすすめることができない。 ・障害年金1件当たりの相談時間は60分から90分の時間を要することが日常的となっており、職員の負担が非常に大きい。 ・国民年金事務を法定受託事務としているものの（担当職員の件数は歳入として受入れ）、事務負担を考えると日本年金機構での一元化が望まれる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	引き続き法定受託事務の実施
令和6年度事業計画	引き続き法定受託事務の実施
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	89	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課	給付年金係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
3・4・1	後期高齢者医療		666,354 千円	690,523 千円	676,882千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶ 08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	生活習慣病等の早期発見による重症化予防と後期高齢者の健康保持・増進、医療費の適正化につなげることを目的に健康診査及び人間ドック健診費用の助成を実施。また、本市の被保険者に係る療養給付費の12分の1を負担金として群馬県後期高齢者医療広域連合に納付する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○後期高齢者医療	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者の健康保持と生活習慣病等の早期発見のため、健康診査などの保健事業を行う 健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・被保険者の療養給付費（医療費）の12分の1を負担金として群馬県後期高齢者医療広域連合に納付する ・「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の事業開始に向けた準備を進める
----------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	○後期高齢者医療	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・療養給付費負担金の後期高齢者医療広域連合への納付 ・「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の事業開始に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者医療 ・健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・療養給付費負担金の後期高齢者医療広域連合への納付 ・「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の事業開始に向けた準備 	<ul style="list-style-type: none"> ○後期高齢者医療 ・健康診査の無料実施 ・人間ドック健診費用の助成 ・療養給付費負担金の後期高齢者医療広域連合への納付 ・「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」の事業開始（全市町村実施年度）
	事業費	690,523	690,523	690,523
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他	45,457	45,457	45,457
	一般財源	645,066	645,066	645,066

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	健診と人間ドックの受診率	35.36	目標値	37.1	38.0	38.8	39.7	40.6
		単位：%	実績値	27.34	27.94			
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	690,523千円	令和4年度決算額	676,882千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・健康診査の実施 令和2年度 3,176人 (健診対象者10,696人) 令和3年度 2,625人 (健診対象者10,707人) 令和4年度 2,760人 (健診対象者11,103人) ・人間ドック健診費用助成 令和2年度 190人 (3,800,000円) 令和3年度 302人 (6,040,000円) 令和4年度 342人 (6,840,000円) ・療養給付費負担金 (実績) 令和2年度 606,775,347円 令和3年度 617,243,719円 令和4年度 639,479,140円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	生活習慣病の早期発見による重症化予防の観点から、令和2年度より健康診査の質問票の内容を改訂し、高齢者の特性を踏まえた健康状態を総合的に判断する。			
課題	被保険者の増加に伴い、療養給付費負担金が年々増加しているため、後期高齢者の健康増進として保健事業を行って、医療費の適正化につなげる。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	R4健康診査・ドック受診率が県平均は37.47%のところ本市受診率は27.94%で、35市町村中31位である(最高:大泉町55.27%、最低:渋川市21.27%)。被保険者の健康保持と生活習慣病等の早期発見のため、受診するよう周知していく。			
令和6年度事業計画	後期高齢者の健康の保持増進と医療費の適正化につなげるため引き続き事業を実施する。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	90	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
国民健康保険特別会計	一般経費		37,892 千円	36,828 千円	28,530千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶ II 地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08.市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1.被保険者の資格適用の適正化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国民健康保険の被保険者の資格の適用を適正に行い、国民健康保険事業の健全な運営を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険の被保険者の資格の取得、喪失の管理 ・保険者証兼高齢受給者証、限度額認定証等の交付 ※令和4年度より被保険者証と高齢受給者証が保険者証兼高齢受給者証として一体化され、更新時期がこれまでの毎年10月更新から、高齢受給者証と同じ8月更新に変更。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・国保資格取得の受付・確認 ・国保資格喪失の受付・確認 ・健康保険の二重加入調査 ・被保険者証と高齢受給者証の一体化 ・短期被保険者証の交付 ・資格証明書の交付 ・限度額認定証の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保資格取得の受付・確認 ・国保資格喪失の受付・確認 ・健康保険の二重加入調査 ・保険者証兼高齢受給者証の交付・更新 ・短期被保険者証の交付 ・資格証明書の交付 ・限度額認定証の交付 	<ul style="list-style-type: none"> ・国保資格取得の受付・確認 ・国保資格喪失の受付・確認 ・健康保険の二重加入調査 ・保険者証兼高齢受給者証の交付・更新 ・短期被保険者証の交付 ・資格証明書の交付 ・限度額認定証の交付
事業費		36,828	36,828	36,828
財源	国庫	2,500	2,500	2,500
	県費			
	市債			
	その他	9	9	9
一般財源		34,319	34,319	34,319

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	36,828 千円	令和4年度決算額	28,530 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 ・ 国保資格取得の受付・確認 ・ 国保資格喪失の受付・確認 ・ 健康保険の二重加入調査 ・ 被保険者証の交付・更新 ・ 短期被保険者証の交付 ・ 限度額認定証の交付 ・ 高齢受給者証の交付	令和3年度 ・ 国保資格取得の受付・確認 ・ 国保資格喪失の受付・確認 ・ 健康保険の二重加入調査 ・ 被保険者証の交付・更新 ・ 短期被保険者証の交付 ・ 限度額認定証の交付 ・ 高齢受給者証の交付	令和4年度 ・ 国保資格取得の受付・確認 ・ 国保資格喪失の受付・確認 ・ 健康保険の二重加入調査 ・ 被保険者証兼高齢受給者証の 交付・更新 ・ 短期被保険者証の交付 ・ 限度額認定証の交付	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国民健康保険制度では、被保険者の資格の適用を適正に行うことは、国民健康保険事業の健全な運営に必要である。更新時期の変更があったが、適正な資格管理、被保険者証等の交付を行うことができた。
課題	国民健康保険の資格については、届出を行わない方が多いので、加入勧奨や喪失手続の勧奨を継続して行うことで、資格管理と被保険者証等の交付に繋げる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	国民健康保険事業の健全な運営のため、被保険者の資格の適用の適正化に努める。
令和6年度事業計画	・ 国民健康保険の被保険者の資格の取得、喪失の管理 ・ 被保険者証兼高齢受給者証、限度額認定証等の交付 ・ 保険証とマイナンバーカード一体化の対応 (令和6年秋)
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	91	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
国民健康保険特別会計	国民健康保険税賦課		9,215 千円	9,016 千円	6,020千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国民健康保険の被保険者に対し適正に賦課し、安定した国民健康保険運営を図る。
----------------	---------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ・国民健康保険の被保険者に保険税を適正に賦課し、納税通知書を発送する。
- ・軽減対象世帯を的確に把握し、賦課する。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	■国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時
	事業費	9,016	9,016	9,016
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	9,016	9,016	9,016

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	9,016千円	令和4年度決算額	6,020千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	令和2年度 ■ 国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税 算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	令和3年度 ■ 国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税 算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	令和4年度 ■ 国民健康保険税の賦課 前年度所得より国保税 算出 軽減対象世帯の減額 当初課税額の決定 納税通知書の発送 7月 変更課税 随時	

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	国民健康保険の被保険者に保険税を適正に賦課し、納税通知書を発送した。また、未就学児均等割軽減軽減が新たに開始されたため、一層、対象世帯の把握に努め、適正に減額した。
課題	国民健康保険は、取得又は喪失などによる被保険者の異動が多く月割課税のため、税額更正による変更通知を随時発送しなくてはならず、確認作業等に多くの時間を要する。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	引き続き、国民健康保険税の適正賦課に努める。
令和6年度事業計画	・ 国民健康保険の被保険者に保険税を適正に賦課し、納税通知書を発送する。 ・ 軽減対象世帯を的確に把握し、賦課する。 ・ 令和6年1月からの産前産後期間保険税免除を適正に行う。
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	92	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
国民健康保険特別会計	国民健康保険運営協議会		757 千円	757 千円	266千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	市町村が行う保険給付や保険税率の決定等、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議するため、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議するため、国民健康保険事業の運営に関する協議会（館林市国民健康保険運営協議会）を設置し、開催する。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
国民健康保険事業の運営に関する事項について、意見交換や市長の諮問等に応じて審議する。 委員構成は、被保険者の代表4名、保険医又は保険薬剤の代表4名、公益代表4名、被用者保険等保険者の代表2名の計14名。	
<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険運営協議会の開催 ・国民健康保険税率の改正について市長の諮問に対する答申 ・国民健康保険運営協議会委員の改選 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	国民健康保険運営協議会委員の改選		国民健康保険運営協議会の開催	国民健康保険運営協議会の開催
	国民健康保険運営協議会の開催		第1回 国民健康保険特別会計決算	第1回 国民健康保険特別会計決算
	第1回 国民健康保険特別会計決算 (案)について		(案)について	(案)について
	第2回 国保事業納付金の仮算定 結果について		第2回 国保事業納付金の仮算定 結果について	第2回 国保事業納付金の仮算定 結果について
	第2回 国保事業納付金の仮算定 結果について		・国民健康保険税率の改正 について（諮問）	・国民健康保険税率の改正に ついて（諮問）
第3回 国保事業納付金の本算定 結果について		第3回 国保事業納付金の本算定 結果について	第3回 国保事業納付金の本算定 結果について	
第3回 国保事業納付金の本算定 結果について		第4回 国民健康保険税率の改正 の答申について	第4回 国民健康保険税率の改正 の答申について	
第4回 国民健康保険税率の改正 の答申について		・国民健康保険特別会計予 算(案)について	・国民健康保険特別会計予 算(案)について	
第4回 国民健康保険税率の改正 の答申について				
事業費	757	757	757	
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	757	757	757

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	国民健康保険運営協議会開催回数	目標値	3	3	4	4	4
		実績値	4	3			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	757千円	令和4年度決算額	266千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険運営協議会の開催 令和2年度：年3回開催 令和3年度：年4回開催 令和4年度：年3回開催 ・市長への答申 令和2年度：国民健康保険税の税率改正について 令和3年度：国民健康保険税の税率改正について 令和4年度：国民健康保険税の税率改正について 国民健康保険税課税限度額の改正について 		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	運営協議会は、国民健康保険法により、国民健康保険事業の運営に関する事項を審議していただくため、都道府県や市町村に設置することになっている。本市でも法に基づき館林市国民健康保険条例で規定し、館林市国民健康保険運営協議会を設置している。国民健康保険事業の運営に関する事項について、意見交換や諮問に対する審議を行っている。
課題	群馬県から、国民健康保険事業費納付金の納付に必要となる国民健康保険税額が毎年度示されるようになった。示された国民健康保険税額を収納できるような保険税率の設定が必要で、平成30年度以降の保険税率について、改正が必要か運営協議会に諮問している。群馬県では、県内の保険税率を統一することで協議が進められており、令和9年度からの準統一とする方向。当分の間、保険税率の改正について運営協議会への諮問が必要と考えられる。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)
	国民健康保険事業の運営に関する事項を審議していただくため、国民健康保険運営協議会を開催する。
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険運営協議会の開催 ・保険税率の改正等について市長の諮問に対する答申
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	93	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係	
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
国民健康保険特別会計	趣旨普及事業			594 千円	496 千円	217千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	被保険者に対し、国民健康保険制度の理解を深めることを推進するとともに、趣旨の普及並びに啓発を図る。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
国民健康保険の趣旨や制度の理解を深めてもらうため、納税通知書の発送時や保険証の交付時等に、内容をわかりやすく作成した国民健康保険制度等のパンフレットやリーフレットを配布し、効果的に啓発を行う。また、ジェネリック医薬品普及啓発シールを配布し、医療費適正化の必要性を広く周知する。	
<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者用パンフレット「お元気ですか 国民健康保険です」 ・第三者行為周知リーフレット ・ジェネリック医薬品普及啓発シール ・柔道整復施術療養費の適正受診啓発用パンフレット 等 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール		<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者用パンフレット 16,500部 ・第三者行為周知リーフレット800部 ・ジェネリック医薬品普及啓発シール 13,000枚 ・柔道整復施術療養費適正受診啓発用パンフレット 5,000部 ・「被保険者証と高齢受給者証の一体化」チラシ 13,000部 ・マイナンバーカード取得促進広報用リーフレット 13,000部 	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者用パンフレット 16,500部 ・第三者行為周知リーフレット800部 ・ジェネリック医薬品普及啓発シール 13,000枚 ・柔道整復施術療養費適正受診啓発用パンフレット 5,000部 ・マイナンバーカード取得促進広報用リーフレット 13,000部 	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者用パンフレット 16,500部 ・第三者行為周知リーフレット800部 ・ジェネリック医薬品普及啓発シール 13,000枚 ・柔道整復施術療養費適正受診啓発用パンフレット 5,000部 ・マイナンバーカード取得促進広報用リーフレット 13,000部 	
	事業費	496	496	496	
	財源	国庫			
		県費			
		市債			
その他					
一般財源	496	496	496		

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	496千円	令和4年度決算額	217千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・柔道整復施術療養費の適正受診啓発 ・ジュネリック普及啓発 ・高齢受給者証用お知らせ ・第三者行為周知 ・マイナンバーカード取得促進用リーフレット ・被保険者証と高齢受給者証の一体化チラシ ・被保険者証用パンフレット（B7版） ・被保険者証用パンフレット（B5版）	令和2年度 5,000部 14,500部 5,800部 700部 12,000部	令和3年度 5,100部 12,000部 6,000部 800部 12,000部 450部	令和4年度 14,500部 1,000部 14,500部 660部 1,610部

【事業の評価】

【Check】 指標評価	
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	市の広報紙及びホームページにおいて、国民健康保険の事業について周知を図っている。加えて、毎日の暮らしに直結する国民健康保険制度を、被保険者の方に普及啓発することが求められる。内容が分かりやすく作成されたパンフレットを活用し、効果的に啓発を行っている。
課題	国民健康保険制度では、各種届出や申請を自ら行わなければならない。また、制度の内容も毎年度のように改正が行われている。国民皆保険制度を支える国民健康保険は、他の医療保険との加入と脱退も頻繁に行われることから、国民健康保険制度を理解していただくとともに、趣旨の普及や啓発のため、効果的なものとなるパンフレットの選択や送付時期を考えて、被保険者に情報を提供する必要がある。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）
	国民健康保険制度を周知するため、趣旨の普及並びに啓発を図る。
令和6年度事業計画	・被保険者証等の送付時にパンフレットを同封
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	94	重要事業	○	総合戦略	担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
国民健康保険特別会計	特定健康診査等事業費			64,060 千円	63,945 千円	49,206千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08.市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
	▶10.適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶3.適用.給付.相談体制の充実
	▶1.疾病予防.特定健康診査などの保健事業の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	特定健康診査及び特定保健指導は、メタボリックシンドロームに着目したもので、実施することが医療保険者に義務付けられている。国民健康保険の被保険者の生活習慣病の発生及び重症化を未然に予防し、生活習慣の改善を図っていく。 特定健康診査、特定保健指導を実施する。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
40歳から74歳の被保険者に、特定健康診査の受診券を発送する。被保険者は、集団健診か個別健診のどちらかを選択して受診することができ、特定健康診査受診後の結果により、対象者を選定し、生活習慣病予防のための特定保健指導を健康推進課と連携して実施する。	
■特定健康診査【重要事業】 ・場所 集団健診は、公益法人群馬県健康づくり財団に委託して、保健センター及び各公民館で実施する。 個別健診は、館林市邑楽郡医師会に委託して、各医療機関に個別に受診する。 ・期間 集団健診は、7月～12月 個別健診は、6月～10月 ■特定保健指導【重要事業】 ・集団健診受診者に対しては、公益法人群馬県健康づくり財団に委託し、個別健診受診者に対しては、保険年金課、または健康推進課で事業を実施する。 ・指導効果を高めるため、対象者の優先順位を設けて、指導を実施する。 ・未実施者に関しては、専門職による勧奨を実施する。	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	■特定健康診査【重】	受診券発送 5月 集団健診 7月～12月 個別健診 6月～10月	■特定健康診査【重】 受診券発送 5月 集団健診 7月～12月 個別健診 6月～10月	■特定健康診査【重】 受診券発送 5月 集団健診 7月～12月 個別健診 6月～10月
	■特定保健指導【重】	10月～	■特定保健指導【重】	10月～
	事業費	63,945	63,945	63,945
	財源	国庫	17,176	17,176
県費				
市債				
その他		4	4	4
一般財源		46,765	46,765	46,765

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	特定健診の受診率	37.8	目標値	45.2	48.9	52.6	56.3	60
		単位：%	実績値	36.7	37.7			
活動指標	特定保健指導実施率	21.4	目標値	30.6	35.2	39.8	44.4	49
		単位：%	実績値	18.1	18.1			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	63,945千円	令和4年度決算額	49,206千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・特定健康診査の実施 令和2年度：4,651人 36.0% 令和3年度：4,547人 36.6% 令和4年度：4,359人 37.7% ・特定保健指導の実施 令和2年度：1,677人 26.6% 令和3年度：1,122人 17.9% 令和4年度：99人 1.8%			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の 必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	生活習慣病の予防及び早期発見を目的とする特定健康診査や、生活習慣病のリスクが高い被保険者に対し生活習慣の改善に向けたサポートをする特定保健指導を実施していく。生活習慣病の重症化や医療費の増加を防ぐための手段として、特定健康診査や特定保健指導は、欠かすことができない。			
課題	特定健康診査の受診率は40%に届いていない。県平均及び全国平均と比べても、低い受診率になっている。実施率向上のための取組や継続して実施する必要がある。また、受診結果をもとに、糖尿病性腎臓病の発症や重症化を予防するための取組を実施していかなければならない。			
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	生活習慣病予防のための特定健康診査や生活習慣の改善を目的とした特定保健指導を引き続き実施していく。			
令和6年度 事業計画	・特定健康診査を実施（集団健診及び個別健診） ・特定保健指導を実施			
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	95	重要事業	○	総合戦略		担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
国民健康保険特別会計	保健衛生普及費			24,167 千円	24,167 千円	20,709千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08.市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶1_被保険者の資格適用の適正化

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	国民健康保険に加入する被保険者の健康維持及び疾病の早期発見を図る。また、医療機関を受診してかかった医療費や、ジェネリック医薬品に切り替えたときの差額を通知することにより、被保険者の健康や医療費に対する意識を高めるとともに、本市の国民健康保険の健全な運営を図ることを目的とする。 短期人間ドック健診費用を助成する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<p>■短期人間ドック健診費助成【重要事業】</p> <p>短期人間ドックの健診費用を助成することで、病気の発生を未然に防ぐことや病気の早期発見に有効な人間ドックの受診を促進する。</p> <p>1泊2日コース 助成額 40,000円/人 日帰りコース 助成額 20,000円/人</p> <p>■医療費通知及びジェネリック医薬品差額通知の送付【重要事業】</p> <p>医療費通知は、健康に対する意識を高めるとともに、確定申告の医療費控除で使用できるものとなっている。また、ジェネリック医薬品差額通知は、被保険者の医療費負担の抑制にもつながり、有益な市民サービスを図っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費通知 年3回 ・ジェネリック医薬品差額通知 年2回
--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		<p>■短期人間ドック【重】</p> <p>申請受付 4月1日～4月30日 実施医療機関 市内5医療機関 実施期間 6月1日～3月31日</p> <p>■医療費及びジェネリック医薬品差額通知【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費通知 7月 12月 2月 ・ジェネリック医薬品差額通知 8月 2月 	<p>■短期人間ドック【重】</p> <p>申請受付 4月1日～4月30日 実施医療機関 市内5医療機関 実施期間 6月1日～3月31日</p> <p>■医療費及びジェネリック医薬品差額通知【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費通知 7月 12月 2月 ・ジェネリック医薬品差額通知 8月 2月 	<p>■短期人間ドック【重】</p> <p>申請受付 4月1日～4月30日 実施医療機関 市内5医療機関 実施期間 6月1日～3月31日</p> <p>■医療費及びジェネリック医薬品差額通知【重】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療費通知 7月 12月 2月 ・ジェネリック医薬品差額通知 8月 2月
	事業費	24,167	24,167	24,167
財源	国庫			
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	24,167	24,167	24,167

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	短期人間ドック健診費助成件数	843	目標値	895	922	948	974	1000
		単位：件	実績値	864	888			
活動指標	ジェネリック医薬品使用割合	74.8	目標値	75.1	76.4	77.6	78.8	80.0
		単位：%	実績値	76.4	-			
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	24,167千円	令和4年度決算額	20,709千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期人間ドック健診費用の助成 令和2年度：527人 令和3年度：864人 令和4年度：888人 ・ 受診医療費の通知 令和2年度：3回 令和3年度：3回 令和4年度：3回 ・ ジェネリック医薬品差額の通知 令和2年度：2回 令和3年度：2回 令和4年度：2回 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	C					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	短期人間ドックの健診費用を助成することで、病気の発生を未然に防ぐことや病気の早期発見に有効な人間ドックの受診を促進している。 受診医療費の通知は、健康に対する意識を高めるとともに、確定申告の医療費控除で使用できるものとなっている。また、ジェネリック医薬品差額の通知は、被保険者の医療費負担の抑制にもつながり、ともに有益な市民サービスとなっている。					
課題	各医療機関で人間ドックの受診者を受け入れられる人数の上限があり、希望する医療機関で人間ドックを受けられない被保険者もいる。 本市におけるジェネリック医薬品の使用割合は、国が定める使用割合の目標値80%に達していない状況にある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	短期人間ドック健診費用の助成や医療費通知、ジェネリック医薬品差額の通知を発送することで、被保険者の健康維持を図る。					
令和6年度事業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短期人間ドック健診費用を助成 ・ 受診医療費を通知 (3回) ・ ジェネリック医薬品差額を通知 (2回) 					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	96	重要事業	総合戦略	担当部署	保険年金課	給付年金係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
後期高齢者医療特別会計	後期高齢者医療保険料徴収			4,855 千円	7,482 千円	6,169千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】事業目的	後期高齢者医療保険料収納事務として、保険料額決定（変更）通知書の発送、徴収、還付・充当及び滞納処分等事務。
------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

○後期高齢者医療保険料徴収	<ul style="list-style-type: none"> ・後期高齢者医療保険料額決定（変更）通知書発送 ・高齢者医療保険料の徴収（口座振替、督促、滞納処分等） ・後期高齢者医療保険料の還付、充当 ・後期高齢者医療保険料徴収に対し必要な調査など ・納付方法拡充対応システム改修【新規】
---------------	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業スケジュール		○後期高齢者医療保険料徴収 ・後期高齢者医療保険料額決定（変更）通知書発送 ・後期高齢者医療保険料の徴収（口座振替、督促、滞納処分等） ・後期高齢者医療保険料の還付、充当 ・後期高齢者医療保険料徴収に対し必要な調査など ・納付方法拡充対応システム改修【新】	○後期高齢者医療保険料徴収 ・後期高齢者医療保険料額決定（変更）通知書発送 ・後期高齢者医療保険料の徴収（口座振替、督促、滞納処分等） ・後期高齢者医療保険料の還付、充当 ・後期高齢者医療保険料徴収に対し必要な調査など	○後期高齢者医療保険料徴収 ・後期高齢者医療保険料額決定（変更）通知書発送 ・後期高齢者医療保険料の徴収（口座振替、督促、滞納処分等） ・後期高齢者医療保険料の還付、充当 ・後期高齢者医療保険料徴収に対し必要な調査など
事業費		7,482	4,787	4,787
財源	国庫	2,695		
	県費			
	市債			
	その他			
	一般財源	4,787	4,787	4,787

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
後期高齢者医療保険料収納率		99.12	目標値	99.16	99.18	99.2	99.22	99.24
	単位：%		実績値	99.04	98.97			
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					
			目標値					
	単位：		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,482 千円	令和4年度決算額	6,169 千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<ul style="list-style-type: none"> ・被保険者数 (年度末) 令和2年度 10,830人 令和3年度 11,251人 令和4年度 11,779人 ・口座振替件数 令和2年度 9,150件 令和3年度 9,506件 令和4年度 10,212件 ・保険料収納率 令和2年度 現年度分99.36% 滞納繰越分42.43% 全体98.91% 令和3年度 現年度分99.51% 滞納繰越分51.61% 全体99.04% 令和4年度 現年度分99.44% 滞納繰越分38.76% 全体98.97% 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	高齢者の医療の確保に関する法律に基づき事業を実施している。			
課題	令和4年度の滞納繰越分保険料収納率は38.76%で、令和3年度51.61%よりも収納率が12.85ポイント下がった。普通徴収の収納率が上がることが未納額の減少、ひいては滞納繰越額が増えないことに繋がるため、普通徴収の納付率を高めることが課題となる。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	令和5年度7月からコンビニ収納を開始し、納付者の利便性を図るために納付機会を増やすことで普通徴収の収納率向上を図っていく。 滞納繰越額を増やさないう、電話催告、臨戸徴収を行っていく。			
令和6年度事業計画	収納率を高めるため、特に滞納繰越分の徴収に力を入れる。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	97	重要事業	総合戦略	担当部署	子育て支援課	子育て支援係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
3・2・4	母子・寡婦家庭及び父子家庭福祉事業			15,432 千円	13,849 千円	11,079千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08_市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
施策の方向	▶5_ひとり親家庭などへの支援の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	ひとり親家庭への相談体制を充実し、生活の安定・経済支援・就労支援等を行う。
----------------	---------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

<ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親家庭への経済的支援 義務教育の入学時と卒業時の祝金事業（館林市金券1万円） ・ひとり親家庭の親の就業に有効な能力の向上や資格の取得を支援・就業情報の提供 高等職業訓練促進給付金、母子家庭等自立支援教育訓練給付金 年2回開催の就業相談会（8月と12月） ・ひとり親家庭の自立支援のために必要な相談 母子父子自立支援員の設置 ひとり親家庭高卒認定試験合格支援補助事業
--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	
事業 スケジュール	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業		①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業	
	事業費	13,849	13,849	13,849	
	財源	国庫	5,304	5,304	5,304
		県費			
		市債			
その他		15	15	15	
	一般財源	8,530	8,530	8,530	

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
	児童扶養手当受給者のうち自立支援のための能力開発及び資格取得のための各種支援事業を活用している人の人数	10	目標値	11	11	11	12	12
		単位：人	実績値	5	5			
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					
			目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	13,865千円	令和4年度決算額	11,079千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業（令和4年度 1人） 令和2年度 3人 令和3年度 0人 令和4年度 1人 ②母子家庭等自立支援高等職業訓練促進費事業（令和4年度 4人） 令和2年度 4人 令和3年度 5人 令和4年度 4人 ③ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業（令和4年度 0人）※令和4年度までの累計実績は1件 令和2年度 0人 令和3年度 0人 令和4年度 0人			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である <input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である <input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている <input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある <input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている <input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある
評価根拠	自立支援高等訓練促進費事業については、5名の活用があった。（保育士・美容師・社会福祉士・介護福祉士・柔道整復師） 子どもの年齢や健康状態等、家庭環境により自立の尺度は異なるため、就業の有無だけで単純に自立の評価は難しい。 本事業は国庫補助事業であり、かつ、利用者は、経済面安定のために取得した国家資格を活かした就職をしていることから、ひとり親家庭の経済的自立のため有効な事業と考える。
課題	新型コロナウイルス感染症拡大により、自立支援教育訓練給付金の利用が1件あった。 高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の利用実績が少ない。 この2事業にあたっては、仕事・子育て・勉強の3つを両立させる必要があることから利用のハードルが高く、利用促進支援のための対策が必要である。
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止） 資格を取得することで、就業による自立につながることから今後も継続とする。 ひとり親家庭においては、十分な準備もなく就業を開始することによりダブルワークやワーキングプアに陥りやすい状況にある。 本事業は、資格取得をするため養成機関で修学する場合、その生活費を一定保証するものであり、卒業後は資格を活かして就職をすることにより生活の安定が図れる。よって、市民のニーズは高い状態で横ばいであり、ひとり親家庭の経済面の安定のために欠かせない事業であると考えられるため、引き続き、母子父子自立のための相談及び周知に努める。
令和6年度事業計画	①母子家庭等自立支援教育訓練給付金事業 ②母子家庭等高等職業訓練促進給付金等事業 ③ひとり親家庭高等学校卒業認定試験合格支援事業 ④養育費確保支援事業
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較
備考	

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	98	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・1・1	保健衛生事業		780千円	566千円	343千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	①熱中症予防啓発 懸垂幕や看板の設置、広報車により、熱中症予防を啓発する。広報車での啓発について、平成30年度から健康推進課単独で行っている。 ②骨髄移植ドナー支援事業 骨髄・末梢血管細胞の提供を行った者に対し補助金を交付し、骨髄提供者の増進を図り、骨髄等移植を推進する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
①熱中症予防啓発	庁舎に懸垂幕の設置。 テレビなどで熱中症についてのニュースなどが多く取り上げられるようになり、認識もされてきたことから、令和3年度からは熱中症アラートが発令された場合に、熱中症予防の看板を設置した広報車での啓発を行う。 熱中症啓発のマグネットシートを市公用車に貼付する。また、行政区にマグネットシートを配布し、人が集まる場所や車に貼付していただき啓発を行ってもらう。
②骨髄移植ドナー支援事業	コロナ禍で医療機関の受診やこういった健康診断についても控えていると思われるが、ポスター掲示やちらしの設置を行い事業周知を図る。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	保健衛生事業	保健衛生事業		
	①熱中症予防啓発	①熱中症予防啓発		
	・庁舎に懸垂幕の設置	・庁舎に懸垂幕の設置		
	・広報車での啓発	・広報車での啓発		
	・マグネットシートの公用車への貼付	・マグネットシートの公用車への貼付		
・行政区へのマグネットシート貼付依頼	・行政区へのマグネットシート貼付依頼			
②骨髄移植ドナー支援事業	②骨髄移植ドナー支援事業			
・ポスター・ちらし等での周知	・ポスター・ちらし等での周知			
事業費	566	780	566	
財源	国庫	0	0	0
	県費	70	70	70
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	496	710	496

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	566千円	令和4年度決算額	343千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・広報車による熱中症予防啓発 R2年度 24日間 R3年度 6日間 令和3年度からは、群馬県に「熱中症警戒アラート」が発令された日に実施 R4年度 9日間 ・骨髄移植ドナー支援事業（H30年度から開始） R2年度 実績なし R3年度 実績なし R4年度 実績なし			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	①熱中症予防啓発 広報車での啓発では、農作業や工事をしているかたが振り返っている様子がみられ、啓発活動として有効であると思われる。 ②骨髄移植ドナー支援事業 現在まで本市では実績がないが、県内では、助成制度の利用者がいる。また、骨髄移植の増進を図る上では重要な事業である。			
課題	①熱中症予防啓発 熱中症については、新聞やテレビでも取り上げられており、ある程度の認識はあると思われるが、暑さが慣れていない時期の熱中症発生が多い。 ②骨髄移植ドナー支援事業 事業を知っていただくため周知が必要。また、骨髄移植ドナー支援事業について、骨髄等の提供者になると検査などで仕事を休まなければならない、収入減になるため提供をやめてしまう人もあり、提供者の増加が難しい。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
【Action】 今後の方向性・内容	①熱中症予防啓発 看板の設置、広報車の巡回により熱中症予防を啓発する。 ②骨髄移植ドナー支援事業 骨髄・末梢血幹細胞の提供を行った者に対し補助金を交付する。また、事業の周知を行いながら骨髄等提供者の増進を図る。			
令和6年度事業計画	熱中症予防啓発及び骨髄移植ドナー支援事業の継続実施			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	99	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・1・3	保健活動推進事業			675千円	667千円	5,735千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶5_心の健康づくりの促進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	自殺対策基本法の改正により、生きることの包括的な支援を行うため、本市では、平成31年3月に策定した「館林市自殺対策計画」に基づき、地域レベルの実践的な取組を推進していく。 自殺予防啓発活動（パンフレット・啓発物品の配布・講演会等の開催等）
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

自殺対策に関する事業の実施	
①人材育成事業	
・ゲートキーパーの養成：自殺対策の人材育成として、ゲートキーパー養成講座実施	
②普及啓発事業	
・こころの健康づくり講演会：ストレスの原因及び対処法について、講演会を実施	
・自殺対策月間イベント：県自殺予防月間（9月）、自殺対策強化月間（3月）中に広く市民に心の健康に関する情報を発信	
9月：保健センター内に「いのち」に関する図書コーナーの設置（図書館協力）	
3月：健康展（市民ホール）での自殺関連パネルの展示、公用車に自殺予防マグネットシート貼付	
・産後うつ対策：保健師、看護師の妊婦訪問時に産後うつに関するリーフレット配布	
③若年層への対策事業	
・成人式参加者への自殺予防啓発用品、リーフレットの配付：心の健康に関する知識の普及と相談先（電話相談・SNS相談）の紹介	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①人材育成事業	・ゲートキーパー養成研修	①人材育成事業	①人材育成事業
	②普及啓発事業	・こころの健康づくり講演会 ・9月、3月の自殺対策月間イベント ・妊婦訪問時の産後うつ対策	②普及啓発事業	②普及啓発事業
	③若年層対策事業	・新成人への普及啓発	③若年層対策事業	③若年層対策事業
			④自殺対策計画（第2次）策定 （市民アンケート実施）	④自殺対策計画（第2次）の周知
事業費		667	850	850
財源	国庫	0	0	0
	県費	89	90	90
	市債	0	0	0
	その他	34	35	35
	一般財源	544	725	725

【関連する指標】

活動指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ゲートキーパー養成者数	35	目標値	107	142	178	214	250
	自殺対策計画目標値（R元年度～5年度）	単位：人	実績値	96	292			
活動指標	自殺者の減少（人口10万人あたり）	11.8	目標値	-	-	13.9	-	13.9
		単位：%	実績値	13.3	14.7			
活動指標	自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)の周知度（聞いたことのある者の率）	36.4	目標値	-	-	66.7	-	66.7
		単位：%	実績値	-	-			

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	667 千円	令和4年度決算額	5,735 千円
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	自殺対策に関する事業の実施 ①人材育成事業 ・ゲートキーパーの養成研修受講者数 R2年度：未実施 R3年度：61人（母子保健推進員） R4年度：196人（民生委員児童委員168人・食生活改善推進員28人） ②普及啓発事業 ・3月の自殺対策月間イベント（健康展参加者数）R2年度：パネル展示のみ R3年度：138人 R4年度：283人 ・公用車に自殺予防マグネットシート貼布、館林駅東西通路に啓発ポスターの掲示 ・妊婦訪問時の産後うつ対策（訪問人数）R2年度：349人 R3年度：409人 R4年度：353人 ③若年層への対策事業 ・二十歳のつどい参加者への啓発用品配布 R2年度：680人 R3年度：650人 R4年度：650人		

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	地域の活動団体（民生委員児童委員・食生活改善推進員）を対象にゲートキーパー養成研修会を実施し、住民への適切な声かけ、傾聴、見守りについて理解を深め、地域での自殺対策の強化を図った。群馬県自殺予防月間（9月）と自殺対策強化月間（3月）にイベントを開催し、広く市民に自殺の現状や予防についての知識の普及に向けた。（健康展アンケートでの月間認知度 R3年度：15.2% R4年度：28.7%）					
課題	R3年度同様、市民への周知啓発については充実してきたが、今後は、ハイリスク者への支援体制の構築が必要。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
	R5年度は自殺対策計画（第二次）の策定にあたり、庁内関係課との会議開催や、関係機関との連携を図るとともに、市民アンケートを実施し、地域の実情に合った計画を策定する。 ハイリスク者支援として、県を主体とする自殺未遂者支援事業等を通してハイリスク者の支援体制の強化、充実を図る。					
令和6年度事業計画	自殺予防対策事業の実施 ・人材育成（ゲートキーパー養成研修の実施） ・普及啓発事業（予防月間中のイベント開催、妊娠中からの産後うつ対策） ・若年層対策事業（二十歳のつどい参加者への情報発信） ・館林市自殺対策計画（第2次）の進行管理					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	100	重要事業	○	総合戦略	担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・1・3	健康づくり推進事業			1,916千円	1,633千円	1,202千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶3_自主的な健康づくりの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	健康の保持・増進に関する啓発活動や健康づくりを実践する個人、団体等への支援を通じて、「自分の健康は自分で守る」という市民の健康意識の向上及び健康寿命の延伸を図る。 健康づくり計画の推進、健康づくり推進懇話会による健康づくりの推進、地域に根差した健康づくり事業の実施。
----------------	--

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

健康づくり推進事業【重要事業】	<ul style="list-style-type: none"> ①食生活改善推進員の養成および活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・推進員活動支援、資質向上のための研修会開催（リーダー研修会、推進員研修会） ・市民を対象とした減塩推進活動の実施 ・食生活改善推進員の養成（健康大学の開催） ②健康づくり推進懇話会による健康づくり推進 ③健康寿命延伸に向けた意識啓発のため、健康まつり等のイベントの開催 ③健康づくり計画（健康たてばやし21第3次）による健康づくり推進
-----------------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	健康づくり推進事業【重】	健康づくり推進事業【重】	健康づくり推進事業【重】	健康づくり推進事業【重】
	①食生活改善推進員活動	①食生活改善推進員活動	①食生活改善推進員活動	①食生活改善推進員活動
	研修会開催・減塩推進活動	研修会開催・減塩推進活動	研修会開催・減塩推進活動	研修会開催・減塩推進活動
	健康大学の開催	健康大学の開催	健康大学の開催	健康大学の開催
	②健康づくり推進懇話会会議開催	②健康づくり推進懇話会会議開催	②健康づくり推進懇話会会議開催	②健康づくり推進懇話会会議開催
	③健康まつりの開催	③健康まつりの開催	③健康まつりの開催	③健康まつりの開催
事業費		1,633	1,633	1,633
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	1,633	1,633	1,633

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	食生活改善推進員数	82	目標値	83	84	84	85	85
		単位：人	実績値	64	67			
			目標値					
			単位：					
			実績値					
			単位：					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	1,633千円	令和4年度決算額	1,202千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	健康づくり推進事業 ①食生活改善推進員活動 推進員数 R2年度：72人 R3年度：64人 R4年度：67人 活動回数 R2年度：103回 R3年度：112回 R4年度：97回 活動延人数 R2年度：289人 R3年度：488人 R4年度：545人 健康大学の実施 R2年度：未実施 R3年度：修了者5人 R4年度：修了者3人 ②健康づくり推進懇話会会議開催 開催回数 R2年度：書面会議2回 R3年度：書面会議2回 R4年度：会議3回 ③健康まつり R2年度：中止 R3年度：中止 R4年度：健康まつり参加総数3,218人・健康づくり推進大会200人			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	・食生活改善推進員活動：コロナ禍において従来の調理実習を中心とした活動内容を見直し、健診結果相談会や健康まつり、健康展で広く市民に減塩と野菜摂取の推進についての周知啓発活動が行えた。 ・健康づくり推進懇話会の対面での会議を再開し、市の健康課題や健康情報の発信を行った。					
課題	食生活改善推進員の高齢化による会員の減少と食生活改善推進員の養成講座（健康大学）の受講者数の減少					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
【Action】 今後の方向性・内容	①食生活改善推進員活動：コロナ禍で3年間中止していた公民館を拠点とした地域活動をR5年度に再開し、食を通じた健康づくりを推進する。 ②健康づくり推進懇話会：年3回の会議における健康づくりに関する意見を健康づくり推進に反映する。 ③健康づくり推進大会：健康づくり作品を募集し、幼児期からの健康への意識の向上を図るとともに、健康づくり活動に取り組む活動団体を表彰し、広く活動を周知する。 ④健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業から移行した「活動量計を利用した健康づくり事業」及び「野菜摂取推進店（たてばやしベジ活応援店）登録制度」の充実を図る。					
令和6年度 事業計画	①食生活改善推進員活動：全公民館での食育活動の実施（R5年度：9公民館→R6年度：11公民館） ②健康づくり推進懇話会：健康づくり計画（第四次）策定に向けた意見聴取 ③健康づくり推進大会の開催 ④活動量計を利用した健康づくり事業の推進 ⑤野菜摂取推進店（たてばやしベジ活応援店）の活動支援					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	101	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
4・1・3	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業			3,434千円	2,479千円	1,695千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶1_健康寿命延伸のための取組推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	本市の健康寿命の延伸を目指し、健康寿命延伸プラットフォームの方針である「健康への取り組みを館林市民の文化として根づかせる」ために、市民へ健康情報を発信し、市民の健康意識の向上を図る。
----------------	---

令和3年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重要事業】	
①市民への野菜摂取の推進：ベジ活応援店登録制度の周知啓発及び市民への野菜摂取推進の周知啓発	
②活動量計を利用した運動啓発事業（たてばやし新8020運動）の推進	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重】	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重】	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重】	健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業【重】
	①市民の野菜摂取推進に向けた事業実施 ・ベジ活応援店登録制度の活動推進 ・市民への野菜摂取推進の周知啓発	①市民の野菜摂取推進に向けた事業実施 ・ベジ活応援店登録制度の活動充実 ・市民への野菜摂取推進の周知啓発	①市民の野菜摂取推進に向けた事業実施 ・ベジ活応援店登録制度の活動充実 ②活動量計を利用した運動啓発事業の充実	①市民の野菜摂取推進に向けた事業実施 ・ベジ活応援店登録制度の活動充実 ・市民への野菜摂取推進の周知啓発
事業費		2,479	2,479	2,479
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	180	180	180
	一般財源	2,299	2,299	2,299

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ベジ活応援登録店舗数 (R2年度開始)	-	目標値	10	20	30	40	50
		単位：数	実績値	27	24			
活動指標	活動量計利用者数 (R2年度開始)	-	目標値	40	80	120	160	200
		単位：人	実績値	66	54			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	2,479千円	令和4年度決算額	1,695千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①プラットフォーム会議の開催 R2年度：中止 R3年度：未開催 R4年度：未開催 ②活動量計を利用した健康づくり事業 事業参加者 R2年度：55人 R3年度：66人 R4年度：54人 事業の実施 ・活動量計読込会 R2年度：20回/年 202人 R3年度：36回/年 306人 R4年度：35回/年 356人 ・ウォーキング教室 R2年度：1回/年 16人 R3年度：1回/年 16人 R4年度：未実施 ・体力測定会 R4年度：2回/年 44人 ③たてばやしベジ活応援店登録制度(野菜摂取の推進) 登録店舗数 R2年度：28店舗 R3年度：27店舗 R4年度：24店舗 ベジ活通信の発行回数 (R4年度新規) R4年度：2回 ④健康づくり講演会 R4年度：参加者234人(県モデル事業 県と共催) テーマ：「フレイル予防」			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	コロナ禍でプラットフォーム会議は3年間、活動を休止しているが、健康寿命延伸に向け、「活動量計を利用した健康づくり事業」と「野菜摂取推進店(たてばやしベジ活応援店)登録制度」を継続実施している。活動量計事業については、体力測定会の開催や各種事業への参加誘導等、参加者の体力評価や新規参加者の誘導を行った。ベジ活応援店の支援として、「ベジ活通信」を新規に発行開始し、健康情報を発信した。			
課題	活動量計の新規参加者とベジ活応援店の登録店舗数の伸び悩みが続いている。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
令和6年度事業計画	健康寿命延伸を目的とした産学官連携プラットフォーム会議における調査研究やシンポジウムでの健康情報の発信は、コロナ禍で活動休止が続き、その間、市による運動、食を中心とした健康づくりを推進してきた。今後も同様の方向性で事業を展開するため、健康寿命延伸産学官プラットフォーム事業はR4年度をもって廃止し、R5年度から、活動量計を利用したウォーキングの推進と、野菜摂取推進に向けた「たてばやしベジ活応援店登録制度」を健康づくり推進事業に移行し、事業を継続実施する。			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	102	重要事業	○	総合戦略	担当部署	健康推進課	健康づくり係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・1・3	生活習慣病予防事業			114,103千円	111,306千円	93,391千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶2_きめ細やかな保健指導の実施
	▶4_疾病の早期発見や早期治療

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	生活習慣病の予防や重症化予防のため、健康増進法に基づく健康増進事業を中心に、保健事業を実施し、市民の健康寿命の延伸を図る。 ①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤訪問指導
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①健康手帳の交付
各種健康診査・がん検診の受診結果、血圧測定結果等を自ら記録し管理する。
- ②健康教育
生活習慣病予防および重症化予防のための講演会、健康教室等の実施。
病態別健康教育（高血圧、糖尿病、骨粗しょう症）、一般健康教育（健康展、保健センターだよりの発行、出前講座等）
- ③健康相談
市民および健診事後指導者へ生活習慣改善に向けた個別相談の実施。（ヘルスアップ相談会、健診結果相談会、窓口相談、電話相談等）
- ④健康診査及びがん検診
生活習慣病予防健診・生保特定健診・歯周病検診・骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検診・胃がんリスク検診・がん検診（肺がん・胃がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん・前立腺がん）
- ⑤訪問指導
健診事後指導者及び療養上の保健指導が必要な者に対し、訪問し保健指導を実施
- ⑥がん患者医療用ウィッグ等購入費助成事業の開始【新規】
がん患者の経済的負担の軽減および療養生活の質の向上と就労などの社会生活を支援することを目的に医療用ウィッグ等の購入費用を助成

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤訪問指導 ※がん患者医療用ウィッグ等購入費助成【新】		①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤訪問指導	①健康手帳の交付 ②健康教育 ③健康相談 ④健康診査及びがん検診 ⑤訪問指導
	事業費	111,306	111,306	111,306
財源	国庫	2,188	2,188	2,188
	県費	3,674	3,674	3,674
	市債	0	0	0
	その他	5,718	5,718	5,718
	一般財源	99,726	99,726	99,726

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 大腸がん検診受診率	6.9	目標値	18.7	24.1	29.4	34.7	40.0
	単位：%	実績値	6.2	6.6			
総合計画指標 子宮頸がん検診受診率	18.5	目標値	24.3	30.7	37.1	43.6	50.0
	単位：%	実績値	16.7	18.2			
総合計画指標 乳がん検診受診率	20.1	目標値	22.5	29.4	36.3	43.2	50.0
	単位：%	実績値	18.2	20.2			

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	111,306千円	令和4年度決算額	93,391千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>①健康手帳の交付（交付数） R2年度：191人 R3年度：277人 R4年度：243人</p> <p>②健康教育（開催回数） R2年度：18回 350人 R3年度：38回 604人 R4年度：52回 1,484人</p> <p>③健康相談（開催回数） R2年度：499回 817人 R3年度：218回 1,331人 R4年度：335回 1,679人</p> <p>④健康診査及びがん検診（受診率）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病予防健康診査 R2年度：2.1% R3年度：3.3% R4年度：2.5% ・肺がん検診 R2年度：6.1% R3年度：7.8% R4年度：8.0% ・大腸がん検診 R2年度：5.0% R3年度：6.2% R4年度：6.6% ・胃がん検診 R2年度：7.0% R3年度：6.9% R4年度：8.3% ・子宮頸がん検診 R2年度：17.0% R3年度：16.7% R4年度：18.2% ・乳がん検診 R2年度：16.9% R3年度：18.2% R4年度：20.2% <p>※生活習慣病予防健診以外のがん検診については、国の指針に合わせて算出（健康増進事業報告に準じる）</p> <p>⑤訪問指導 R2年度：171人 R3年度：73人 R4年度：67人</p>			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の 必要性	■ 高	政策の推進におい て不可欠な事業で ある	□ 中	政策の推進に寄与し ている事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有 無について検討の余地がある
事業の 有効性	■ 高	成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られ ている	□ 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	□ 高	費用対効果が高水 準にある	■ 中	適切な費用対効果が 得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	がん検診の受診率は、国の指針に基づく対象年齢（肺がん・大腸がん：40～69歳男女、胃がん：50～69歳男女、子宮頸がん：20～69歳女性、乳がん：40～69歳女性）と国から示された算出方法で表示。 コロナの影響による受診控えでR2年度の受診者は大きく減少したが、R3年度、4年度は感染拡大前の水準に近づけることができた。R4年度のがん検診で49名にがんが見つかり、多くは早期がんであり、早期発見、早期治療につなげることができた。					
課題	・検診で早期がん及び前がん状態を発見するために、初回受診者を増やす必要があり、がん好発年齢にターゲットを絞った未受診者対策が必要					
	■ 継続 □ 拡大 □ 改善 □ 代替 □ 統合 □ 縮小 □ 休止 □ 廃止（□ 一部廃止）					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<p>・がん検診受診率の目標としている数値は、国が国民生活基礎調査結果から算出した目標値であり、職域におけるがん検診等を含んだ数値となっているため、自治体の検診の目標値の設定として、誤りがあった。国は今後、実施主体によらないがん検診の実施状況を検討しているため、今後の動向に注視しながら、受診率向上に向けた働きかけを行う。</p> <p>・市民が受診しやすい検診体制を整え、受診者増につなげる。（R5年度は女性限定の検診日に加え、がん単独検診の日程を新たに設定）</p>					
令和6年度 事業計画	<p>①健康手帳の交付</p> <p>②健康教育</p> <p>③健康相談</p> <p>④健康診査及びがん検診</p> <p>⑤家庭訪問（健診事後指導等）</p> <p>⑥がん患者医療用ウィッグ等購入費助成（R4年度開始）</p> <p>⑦若年がん患者在宅療養支援事業助成（R4年度開始）</p>					
予算規模 見込み	■ 同規模	□ 拡大	□ 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	103	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・1・4	感染症予防事業			8,245千円	6,949千円	6,373千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	感染症予防法に基づき、結核のまん延防止やその他の感染症の予防に努める。
----------------	-------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

- ①感染症予防
 - ・結核健康診断
(問診・胸部レントゲン撮影・対象40歳以上)
 - ・感染症予防のための薬剤散布
(台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布)
- ②新型コロナウイルス感染症対応
 - ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄・提供など
 - ・館林地域外来・検査センター補助金

【事業スケジュール】

(単位：千円)

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布(随時) ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など ・館林地域外来・検査センター補助金	①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布(随時) ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など ・館林地域外来・検査センター補助金	①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布(随時) ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など ・館林地域外来・検査センター補助金	①感染症予防 ・結核健康診断 ・台風などによるマンホールからの汚水噴出の際の消毒液散布(随時) ②新型コロナウイルス感染症対応 ・本部会議開催・市民への啓発・マスク・消毒液などの備蓄、提供など ・館林地域外来・検査センター補助金
	事業費	6,949	6,949	6,949
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	6,949	6,949	6,949

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	広報紙掲載	9	目標値	7	7	6	5	4
		単位：回	実績値	2	3			
活動指標	結核健康診断	5,845	目標値	5,897	5,922	5,948	5,974	6,000
		単位：人	実績値	5,121	5,432			
			目標値					
			実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	6,949千円	令和4年度決算額	6,373千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①結核健康診断 (問診・胸部レントゲン撮影 対象：40歳以上) ・令和2年度 受診者数 3,903人 ・令和3年度 受診者数 5,121人 ・令和4年度 受診者数 5,432人 ②新型コロナウイルス感染症対策 ・令和2年度 対策会議開催回数 23回 ・令和3年度 対策会議開催回数 15回 ・令和4年度 対策会議開催回数 5回			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	令和2年度は受診者数が減少し、新型コロナウイルス流行の受診控えによるものと思われたが、その後、受診者は、増加傾向にある。			
課題	令和2年度に新型コロナウイルス流行の影響で受診者が大きく減少したが、令和3年度以降は、コロナ以前の受診者数に近づいている。今後も、効果的な受診勧奨対策が求められている。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	受診しやすい健診体制の工夫により、受診者を増やす。また、新型コロナウイルス感染症対策会議は、令和5年5月8日から感染症法の位置づけが、2類相当か5類に移行される事に伴い廃止された。			
令和6年度事業計画	結核健康診断の継続			
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	104	重要事業	○	総合戦略	担当部署	健康推進課	母子保健係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・1・5	予防接種事業			216,771千円	227,830千円	210,930千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
	▶Ⅲ_育てる幸せを感じ生涯にわたり互いに学び続ける家庭と文化を築くまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
	▶11_社会全体で健やかな子どもの成長を支え、子育ての喜びを感じられるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実
	▶1_妊娠・出産・子育て期の切れ目のない支援

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	予防接種を行い、感染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進を行う。 ①定期予防接種 ②任意予防接種助成
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

[定期予防接種]	ロタ、B型肝炎、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、二種混合、BCG、麻しん風しん、風しん第5期、水痘、日本脳炎、子宮頸がん、高齢者インフルエンザ、高齢者用肺炎球菌 子宮頸がん予防ワクチン接種の再開及び差し控え中に接種機会を逃した未接種者に対する接種 風しん第5期予防接種の3年間延長（令和6年度まで）
[任意予防接種助成]	おたふくかぜ、風しん（成人）、高齢者用肺炎球菌、骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①定期予防接種【重】 ※子宮頸がんワクチン接種再開 ※風しん第5期延長（3年間） ②任意予防接種助成【重】 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成		①定期予防接種【重】 ②任意予防接種助成【重】 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成	①定期予防接種【重】 ②任意予防接種助成【重】 ・風しん（成人）ワクチン接種費用助成 ・高齢者用肺炎球菌ワクチン接種費用助成 ・おたふくかぜワクチン接種費用助成 ・骨髄移植等の理由による定期予防接種ワクチン再接種費用助成
	事業費	227,830	227,830	227,830
財源	国庫	4,569	4,569	4,569
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	223,261	223,261	223,261

【関連する指標】

指標		現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	予防接種の接種率（麻しん風しん第1期）	91.7	目標値	92.8	93.4	93.9	94.5	95.0
		単位：%	実績値	98.5	109.3			
活動指標	予防接種の接種率（麻しん風しん第2期）	94.8	目標値	94.9	94.9	94.9	95.0	95.0
		単位：%	実績値	97.9	97.3			
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	227,830千円	令和4年度決算額	210,930千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 予防接種の接種率（麻しん風しん第1期） 令和2年度：103.2%、令和3年度：98.5%、令和4年度：109.3% ■ 予防接種の接種率（麻しん風しん第2期） 令和2年度：99.3%、令和3年度：97.9%、令和4年度：97.3%			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	A			
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	実績値については目標値を上回っている。乳幼児健康診査時の勧奨、未接種者への電話確認・勧奨はがきの送付、入学説明会でのちらしの配布、未手続の転入者への訪問・通知による接種状況の把握等を積極的に実施したことにより、目標値を上回ったと考えられる。			
課題	・子宮頸がん予防ワクチンについて、積極的な勧奨が再開となり接種者は増加したが未接種者も多い。今後も接種率向上のため、接種勧奨を推進する必要がある。 ・風しん第5期について受検率は緩やかに伸びているが年度単位の受検者数は減少傾向であるため、積極的な受検勧奨が必要である。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	・麻しん風しん予防接種の接種率は、今後も95%以上を維持する。 ・子宮頸がん予防ワクチンは令和5年度より9価ワクチンが追加されたため、情報提供も含めて接種勧奨を推進する。 ・風しん第5期抗体検査・予防接種については、クーポン券や勧奨はがきの送付、電話等により積極的な勧奨を図る。			
令和6年度事業計画	・定期予防接種の実施 ・任意予防接種の助成			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	105	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課 新型コロナウイルスワクチン接種係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
4・1・5	新型コロナワクチン接種事業			226,564千円	255,675千円	437,626千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	▶8_感染症対策の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	新型コロナウイルス感染症のまん延を防ぐため、接種を希望する人へのワクチン接種を円滑に実施する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①新型コロナウイルスワクチン接種事業【重要事業】

- ・接種券発送業務 3回目接種については、2回目接種日から概ね7ヶ月経過後に、順次、3回目接種券を発送。
- ・接種業務 令和4年12月6日より、3回目接種を開始。初回接種も併せて令和4年9月末まで継続して接種を実施。（初回接種の対象に、5歳～11歳の小児が追加）
- ・館林市邑楽郡医師会との調整 集団接種会場の医療業務に関することや従事シフト等の随時調整を行う。
- ・接種会場設営等 集団接種会場の設営及び運営業務や個別医療機関での個別接種の調整を行う。
- ・接種予約・相談業務 電話での接種予約、相談等対応のためにコールセンターを設置するとともに、対面・電話での予約より簡単・便利に予約できるLINEを使った予約システム（委託）を運用し、集団接種と各医療機関による個別接種の予約受付を行う。
- ・ワクチン管理業務 集団接種及び個別接種に使用するワクチン及び接種関連物品等の管理及び配送を行う。

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	①新型コロナウイルスワクチン接種事業【重】 ・接種券発送業務 ・医師会調整 ・接種業務 ・接種会場運営等 ・予約・相談 ・ワクチン管理 【令和4年9月末まで（予定）】			
	事業費	244,504		
財源	国庫	244,504		
	県費	0		
	市債	0		
	その他	0		
	一般財源	0	0	0

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
活動指標	ワクチン接種率（1回目、2回目合算接種率・接種者数/対象者数）	目標値	80%	90%			
		実績値	86.8%	82.8%			
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					
		目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調書

【事業の実績】

令和4年度予算額	255,675千円	令和4年度決算額	437,626千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	■ 令和3年度新型コロナウイルスワクチン接種件数 (延) ・ 123,607件 ■ 令和4年度新型コロナウイルスワクチン接種件数 (延) ・ 107,139件			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	B					
事業の必要性	■ 高	政策の推進において不可欠な事業である	□ 中	政策の推進に寄与している事業である	□ 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	■ 高	成果が高水準にある	□ 中	適切な成果が得られている	□ 低	成果が低水準にある
事業の効率性	□ 高	費用対効果が高水準にある	■ 中	適切な費用対効果が得られている	□ 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	国において新型コロナ感染症対策の重要な柱として全国的に実施する施策であるため、本市においても不可欠な事業である。また、ワクチンを接種することにより、感染予防や重症化予防の効果があるため成果が高水準にある。					
課題	接種会場や接種機会を拡大し、市民がワクチン接種を受けやすい体制を整える必要がある。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	新型コロナウイルスワクチン接種事業の実施期間は、現時点において令和6年3月31日までとされている。国の指針に沿って実施していく。					
令和6年度事業計画	事業なし (予定)					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考	国の指針の変更等により、新型コロナウイルスワクチン接種事業が継続する場合も考えられる					

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	106	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名		当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)
4・1・6	保健センター管理運営		7,373千円	7,414千円	6,742千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶09_心身ともに健康でいきいきと暮らせるまちになる
施策の方向	

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	健康教育・健康診査・栄養指導など、住民に対する保健サービス提供のため、総合的な拠点となる保健センターの管理運営を行う。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

保健センター管理運営	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・不具合箇所の修繕 ・LED化工事 ・受水槽ポンプ交換工事
------------	---

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	保健センター管理運営 ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・LED化工事（トイレ・湯沸室・廊下〔1階〕） ・受水槽ポンプ交換工事		保健センター管理運営 ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・LED化工事（2階各部屋） ・Wi-Fi設置工事	保健センター管理運営 ・施設管理（警備清掃・施設保守点検） ・LED化工事（2階廊下等）
	事業費	7,414	7,414	6,545
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	7,414	7,414	6,545

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					
		目標値					
	単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	7,414千円	令和4年度決算額	6,742千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	○令和2年度 ①修繕：非常用照明修繕 給湯室等ガス漏れ警報器交換修繕 他 計 532,411円 ②工事：なし ○令和3年度 ①修繕：自動火災報知設備交換修繕 1階西側出入口誘導灯交換修繕 計 214,500円 ②工事：自動水栓設置工事 照明器具交換工事 計 1,408,000円 ○令和4年度 ①修繕：階段踊り場壁クラック修繕 受水槽FM弁交換修繕 計 667,590円 ②工事：受水槽ポンプ交換工事 照明器具交換工事 他 計 1,815,000円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	保健センターは、市民に対する保健サービス提供に不可欠な拠点でもあるため、事業内容を充実し、増大する市民ニーズに対応しなければならない。また、施設管理については、年次計画により、長寿命化を図ることができる。					
課題	施設の老朽化に伴い、修繕費用の増加が見込まれる。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	健康教育・健康診査・栄養指導など、住民に対する保健サービス提供のため、総合的な拠点となる保健センターの管理運営を行う。また、保健センターは自主避難所の開設順位が1位のため、災害対応の備えの更なる充実を図る。					
令和6年度事業計画	施設の老朽化に伴う工事及び修繕					
予算規模見込み	<input type="checkbox"/> 同規模	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	※前年度比較		
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	107	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課	地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
4・1・2	地域医療対策事業			11,779千円	11,279千円	9,933千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶6_公立館林厚生病院を中心とした救急医療体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	①救急医療在宅当番医制 ・館林市邑楽郡医師会の協力のもと、休祝日における救急医療患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を指導する。 ②休日歯科診療所 ・館林邑楽郡歯科医師会が運営する休祝日歯科診療業務に対し助成する。 ③電話健康相談事業 ・市民の健康保持増進を図ることを目的に着目した事業。併せて健康増進により医療の抑制を図る。
----------------	--

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

①救急医療在宅当番医制	診療日：日曜日・祝日・年末年始 診療時間：内科・外科：9時～17時 耳鼻科9時～13時
②休日歯科診療所	診療日：日曜日・祝日・年末年始 診療受付時間：9時～11時30分
③電話健康相談事業	「たてばやし健康ダイヤル」 電話番号 0120-374-215 受付時間 24時間 年中無休

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	地域医療対策事業【重】	地域医療対策事業【重】	地域医療対策事業【重】	地域医療対策事業【重】
	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出	・館林市邑楽郡医師会に委託料の支出
	・館林邑楽郡歯科医師会に補助金を支出	・館林邑楽郡歯科医師会に補助金を支出	・館林邑楽郡歯科医師会に補助金を支出	・館林邑楽郡歯科医師会に補助金を支出
	・電話健康相談事業委託料	・電話健康相談事業委託料	・電話健康相談事業委託料	・電話健康相談事業委託料
	事業費	11,279	11,279	11,279
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	11,279	11,279	11,279

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度					
			R3	R4	R5	R6	R7	
総合計画指標	【市民アンケート】医療体制充実度の満足度	24.9	目標値	-	-	28.9	-	30.9
		単位：%	実績値	-	-			
		単位：	目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	11,279千円	令和4年度決算額	9,933千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	①救急医療在宅当番医制 診療日：日祝日・年末年始 内科・外科：9時～17時、耳鼻科：9時～13時 ・令和2年度 診療日数71日 ・令和3年度 診療日数71日 ・令和4年度 診療日数71日 ②休日歯科診療所 診療日：日祝日・年末年始 診療受付時間：9時～11時30分 ・令和2年度 診療日数74日 受診者数203人（1日当たり2.7人） ・令和3年度 診療日数72日 受診者数191人（1日当たり2.7人） ・令和4年度 診療日数72日 受診者数197人（1日当たり2.7人）			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	休日における診療体制を整備し、住民の医療に対する満足度の向上を図っていくため今後も継続。			
課題	①救急医療在宅当番医制 ・新規会員の増加よりも既存の医師会々員の高齢化が進み、医師不足である。 ・R2年度から外科の当番医が少なくなったことから、夜間急病診療所にて公立館林厚生病院から医師の派遣を受け、隔月で参加している。 ②休日歯科診療所 ・1市5町から負担金を支出しているが、土地柄の影響で県外からの受診者もいる。このため、県外の自治体からの負担金が収入として得られるかが課題となっている。			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）			
	①救急医療在宅当番医制 ・館林市邑楽郡医師会の協力のもと、休日における救急医療患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を指導する。 ②休日歯科診療所 ・館林邑楽歯科医師会が運営する休日歯科診療業務に対し助成する。			
令和6年度事業計画	①救急医療在宅当番医制 診療日時：日祝日・年末年始 9時～17時（内科・外科）、9時～13時（耳鼻科） ②休日歯科診療所 診療日：日祝日・年末年始 診療受付時間：9時～11時30分			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	108	重要事業	総合戦略	担当部署	健康推進課 地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)
4・1・3	邑楽館林医療企業団負担金			851,206千円	850,898千円
				決算額 (R4)	850,898千円

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶6_公立館林厚生病院を中心とした救急医療体制の充実

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	信頼、安心、全ては患者さんのために 1 地の域医療・介護機関と協同し、住民の健康を支える病院となる 2 チーム医療に取り組み、安全な医療と快適な療養環境を提供する 3 常に医療資源を効率的に利用し、医療の質と経済性の調和をめざす 3つの基本方針にいつでも患者の権利を尊重して最善の医療を提供するための運営費として負担金を計上する。
----------------	---

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

・邑楽館林医療企業団への負担金(850,898千円)の支出（6月・8月・11月・2月）

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール		邑楽館林医療企業団への負担金 (850,898千円)の支出	邑楽館林医療企業団への負担金 (850,898千円)の支出	邑楽館林医療企業団への負担金 (850,898千円)の支出
	事業費	850,898	850,898	850,898
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	0	0	0
	一般財源	850,898	850,898	850,898

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
【市民アンケート】医療体制充実度の満足度		24.9	目標値	-	-	28.9	-	30.9
		単位：%	実績値	-	-			
		単位：	目標値					
		単位：	実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	850,898千円	令和4年度決算額	850,898千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	邑楽館林医療事務組合負担金 ・令和2年度 897,591千円 ・令和3年度 851,206千円 ・令和4年度 850,898千円			

【事業の評価】

【Check】 指標評価				
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中 政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低 目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある	
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高 成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 成果が低水準にある	
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高 費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中 適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低 費用対効果が低水準にある	
評価根拠	医師の安定確保を図り、住民の医療に対する満足度の向上を図るためには、必要な事業である。			
課題	1市5町の負担割合			
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)			
	令和4年4月1日から、「邑楽館林医療事務組合」から、「邑楽館林医療企業団」に経営形態が変更した。今まで以上に、より効率的な病院運営が可能となり、太田館林2次医療圏の基幹病院として、地域医療を支えていく。			
令和6年度事業計画	継続実施			
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較			
備考				

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	109	重要事業	○	総合戦略		担当部署	健康推進課	地域医療係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)		
4・1・7	夜間急病診療所管理運営			37,542 千円	38,344 千円	14,385 千円		

【総合計画との関連】

基本目的	▶II_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶10_適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶7_地域一体の医療体制づくりの推進

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供する。
----------------	-------------------------------------

令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）

夜間急病診療所運営及び施設管理	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年1月18日から休診中（再開未定） ・休日当番医（外科）への参加（奇数月の第2日曜日）
-----------------	--

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	夜間急病診療所運営及び施設管理	夜間急病診療所運営及び施設管理	夜間急病診療所運営及び施設管理	夜間急病診療所運営及び施設管理
	・夜間診療	・夜間診療	・夜間診療	・夜間診療
	診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時	診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時	診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時	診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7～10時
	・休日当番医	・休日当番医	・休日当番医	・休日当番医
	診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後5時	診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後6時	診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後7時	診療日時：奇数月の第2日曜日 午前9～午後7時
事業費		38,344	38,344	38,344
財源	国庫	0	0	0
	県費	0	0	0
	市債	0	0	0
	その他	7,791	7,791	7,791
	一般財源	30,553	30,553	30,553

【関連する指標】

指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
			R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標 館林市夜間急病診療所の認知度	92.6	目標値	-	-	-	-	95
	単位：%	実績値	-	-			
	単位：	目標値					
		実績値					
	単位：	目標値					
		実績値					

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	38,344千円	令和4年度決算額	14,385千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	<p>診療日時：月～土曜日（年末年始・祝日を除く）午後7時～午後10時</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度 <ul style="list-style-type: none"> ①夜間診療：診療日数 72日 患者数 79人 1日平均患者数1.1人 ②休日当番医：診療日数 3日 患者数 8人 1日平均患者数2.7人 休日当番医については外科での参加医師が少なくなったため、令和2年11月から隔月で夜間急病診療所にて、公立館林厚生病院から外科医師を派遣いただき診療を開始している。 ・令和3年度 <ul style="list-style-type: none"> ①夜間診療：院内の感染症防止対策のため令和3年1月18日から休診 ②休日当番医：診療日数 6日 患者数 34人 1日平均患者数5.7人 ・令和4年度 <ul style="list-style-type: none"> ①夜間診療：院内の感染症防止対策のため令和3年1月18日から休診 ②休日当番医：診療日数 6日 患者数 34人 1日平均患者数5.7人 			

【事業の評価】

【Check】 指標評価						
事業の 必要性	<input type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input checked="" type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の 有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の 効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input checked="" type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度も前年に続いて、新型コロナウイルスの院内感染予防のため夜間診療については休診していた。ただし、休日当番医については隔月（奇数月）で行っている。 ・施設管理については、市民の健康保持に不可欠な施設であるため、年次計画により長寿命化を図っていきたい。 					
課題	<ul style="list-style-type: none"> ・医師会会員の高齢化等から協力医の確保が困難になっている。 					
【Action】 今後の 方向性 ・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止（ <input type="checkbox"/> 一部廃止）					
令和6年度 事業計画	新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、院内感染防止のため休止していた夜間急病診療所であるが、令和5年4月3日から再開している。					
令和6年度 事業計画	協力医の確保や施設の老朽化等、今後の運営については医師会等との調整も必要であるが、現状では、地域住民の夜間急病患者に対し、応急的な診療を行い適切な医療を提供することが必要である。					
予算規模 見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						

【令和4年度事業】実施計画書

整理番号	110	重要事業	○	総合戦略		担当部署	保険年金課 国保係
款・項・目	事業名			当初予算額 (R3)	当初予算額 (R4)	決算額 (R4)	
国民健康保険特別会計	特定健康診査等事業費			64,060 千円	63,945 千円	49,206千円	

【総合計画との関連】

基本目的	▶Ⅱ_地域で支え合い生涯健康で暮らせる幸福感の高いまち
施策目的	▶08.市民が安心して生活できるよう社会保障の機能が充実したまちになる
	▶10.適切な医療がいつでも受けられるまちになる
施策の方向	▶3.適用.給付.相談体制の充実
	▶1.疾病予防.特定健康診査などの保健事業の実施

【事業の目的及び内容】

【Plan】 事業目的	特定健康診査及び特定保健指導は、メタボリックシンドロームに着目したもので、実施することが医療保険者に義務付けられている。国民健康保険の被保険者の生活習慣病の発生及び重症化を未然に予防し、生活習慣の改善を図っていく。 特定健康診査、特定保健指導を実施する。
令和4年度事業計画（主要な事業とその取組内容）	
40歳から74歳の被保険者に、特定健康診査の受診券を発送する。被保険者は、集団健診か個別健診のどちらかを選択して受診することができ、特定健康診査受診後の結果により、対象者を選定し、生活習慣病予防のための特定保健指導を健康推進課と連携して実施する。	
■特定健康診査【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・場所 集団健診は、公益法人群馬県健康づくり財団に委託して、保健センター及び各公民館で実施する。 個別健診は、館林市邑楽郡医師会に委託して、各医療機関に個別に受診する。 ・期間 集団健診は、7月～12月 個別健診は、6月～10月 	
■特定保健指導【重要事業】 <ul style="list-style-type: none"> ・集団健診受診者に対しては、公益法人群馬県健康づくり財団に委託し、個別健診受診者に対しては、保険年金課、または健康推進課で事業を実施する。 ・指導効果を高めるため、対象者の優先順位を設けて、指導を実施する。 ・未実施者に関しては、専門職による勧奨を実施する。 	

【事業スケジュール】

（単位：千円）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業 スケジュール	■特定健康診査【重】	受診券発送 5月 集団健診 7月～12月 個別健診 6月～10月	■特定健康診査【重】 受診券発送 5月 集団健診 7月～12月 個別健診 6月～10月	■特定健康診査【重】 受診券発送 5月 集団健診 7月～12月 個別健診 6月～10月
	■特定保健指導【重】	10月～	■特定保健指導【重】 10月～	■特定保健指導【重】 10月～
	事業費	63,945	63,945	63,945
	財源	国庫	17,176	17,176
県費				
市債				
その他		4	4	4
一般財源		46,765	46,765	46,765

【関連する指標】

総合計画指標	指標	現状値 (R元年度)	区分	年度				
				R3	R4	R5	R6	R7
総合計画指標	特定健診の受診率	37.8	目標値	45.2	48.9	52.6	56.3	60
		単位：%	実績値	36.7	37.7			
活動指標	特定保健指導実施率	21.4	目標値	30.6	35.2	39.8	44.4	49
		単位：%	実績値	18.1	18.1			
			目標値					
			単位：	実績値				

【令和4年度事業】事業評価調査

【事業の実績】

令和4年度予算額	63,945千円	令和4年度決算額	49,206千円	
【Do】 事業実績 (成果) ※過去3カ 年	・特定健康診査の実施 令和2年度：4,651人 36.0% 令和3年度：4,547人 36.6% 令和4年度：4,359人 37.7% ・特定保健指導の実施 令和2年度：1,677人 26.6% 令和3年度：1,122人 17.9% 令和4年度：99人 1.8%			

【事業の評価】

【Check】 指標評価	D					
事業の必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高	政策の推進において不可欠な事業である	<input type="checkbox"/> 中	政策の推進に寄与している事業である	<input type="checkbox"/> 低	目的をある程度達成し、実施の有無について検討の余地がある
事業の有効性	<input type="checkbox"/> 高	成果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な成果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	成果が低水準にある
事業の効率性	<input type="checkbox"/> 高	費用対効果が高水準にある	<input checked="" type="checkbox"/> 中	適切な費用対効果が得られている	<input type="checkbox"/> 低	費用対効果が低水準にある
評価根拠	生活習慣病の予防及び早期発見を目的とする特定健康診査や、生活習慣病のリスクが高い被保険者に対し生活習慣の改善に向けたサポートをする特定保健指導を実施していく。生活習慣病の重症化や医療費の増加を防ぐための手段として、特定健康診査や特定保健指導は、欠かすことができない。					
課題	特定健康診査の受診率は40%に届いていない。県平均及び全国平均と比べても、低い受診率になっている。実施率向上のための取組や継続して実施する必要がある。また、受診結果をもとに、糖尿病性腎臓病の発症や重症化を予防するための取組を実施していかなければならない。					
【Action】 今後の方向性・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 代替 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止 (<input type="checkbox"/> 一部廃止)					
	生活習慣病予防のための特定健康診査や生活習慣の改善を目的とした特定保健指導を引き続き実施していく。					
令和6年度事業計画	・特定健康診査を実施（集団健診及び個別健診） ・特定保健指導を実施					
予算規模見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 同規模 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 ※前年度比較					
備考						